

第一号議案

# 平成22年度・事業報告書

自 平成 22 年 4 月 1 日  
至 平成 23 年 3 月 31 日

## 目 次

I.	概況	1
II.	本部活動状況	2
1.	マーケティングに関する調査及び研究	2
◆	マーケティング・フィロソフィー/リサーチ・プロジェクト	2
◆	マーケティング・リサーチの現状に関するアンケート	2
2.	マーケティングに関する研修会及びセミナー等の実施	3
①	人材育成・教育プログラム	3
◆	ベーシックコース	3
◆	マーケティング・マスターコース	6
◆	エグゼクティブ・マーケティング・コース	9
②	調査研究プログラム	10
	新領域に挑戦する研究会	10
◆	BtoB マーケティング研究会	10
◆	ソーシャルマーケティング研究	11
◆	ニューロマーケティング研究会	12
◆	次世代マーケティングプラットフォームの研究	13
③	セミナープログラム	14
3.	マーケティングに関する情報の収集及び提供	27
◆	出版活動、ウェブサイト運営	27
4.	マーケティングに関する内外関係機関との交流及び協力	27
◆	アジア・マーケティング連盟	27
◆	その他後援・協賛	27
5.	マーケティングに関する研究に対する助成	28
◆	関東十ゼミ討論会支援	28
6.	PR 活動やサービス事業	29
◆	第2回日本マーケティング大賞	29
◆	JMA メンバーズプログラム	31
◆	JMA メンバーズ委員会	33
◆	JMA サロン	34
◆	月例会	34
III.	平成22年度新入会員社・学会会員	35
IV.	関西支部事業報告	36
V.	九州支部事業報告	44
VI.	北海道支部事業報告	49



## 1. 概況

リーマンショック後の日本経済の低迷から少し明るい日差しが見え始めた一年であった。

基幹教育プログラムへの盛況、新入会企業の増加など、これまでにない手ごたえがあったが、一方でセミナー参加数をみると全体にやや減少気味であり、企業現場での厳しさを伺えるものもあった。新たに取り組んだテーマ別委員会が堅実なスタートを切った。

公益法人化について、本格的な作業を始め、新定款の骨子が固まった。

国際的には、アジアマーケティング連盟への加盟、連盟会長に後藤会長が選任されるなど、新たな取り組みが始まった。

しかし、年度最終 3 月に東日本大震災が勃発、さらに原発事故、計画停電が続いてその影響は未曾有の規模となり、会員企業の業績や日本経済の行方に暗い影を投げかけている。

・人材育成のための基幹教育プログラムは、その内容や密度、構成について企業の評価が高く、活況を呈した。ベーシックコースは、3 コース（春・秋）で計 190 名と、過去最高と並ぶ実績となった。また、コミュニケーション革命の進展に合わせて書籍『ベーシックマーケティング』を全面改定した。

マスターコース第 17 期は前年から大きく伸びて 41 名の参加を得て実施した。ソーシャルメディアの講義も掘り下げ、山本マイスター（電通）は出張先のボストンから skype 経由で講義を行う実験も行った。

エグゼクティブコース（札幌開催）も 25 人の参加という盛況で、現役トップによる賢人賢話という企画が好評を博した。

セミナー、研究会は、急ピッチで拡大するソーシャルメディアに焦点を当てたセミナーや研究会が盛況で、マーケターが非常に関心が高く、今後の発展やその利用法に注目している。五感ブランディングなど、生活者の心理レベルをより掘り下げようという企画も関心を高めている。ただ全般に、リーマンショック以前に比べると若干の参加者減が見られ、マーケターの学習意欲に部門予算が歯止めをかけているのか、と懸念される。

テーマ審議会のテーマ選出を受け、「店頭マーケティング委員会」、「メディア委員会」、「シニア委員会」の 3 委員会が始動し、一年間活発な議論を展開した。これは、会員社による自主運営で、討議内容は発表予定。

第二回日本マーケティング大賞は「サントリー角ハイボール」プロジェクトが受賞し、大きな話題を集めた。奨励賞の意義も浸透し、マーケティングセンスの理解普及に役立っている。

月刊誌『ホライズン』は片平秀貴氏（丸の内ブランドフォーラム代表）を編集委員長に迎え、編集委員も新布陣となり、各号のテーマ設定など、斬新な企画で価値を高めている。

公益法人化については、新定款案が 3 月度理事会で承認され、次年度の総会決議に臨む。申請作業のため、田村裕一郎弁護士と顧問契約を結んだ。

国際活動については、5 月末のアジアマーケティング連盟の総会（パリにて開催）において、後藤会長が全会一致で会長に選任され、2 年間 AMF 会長を務めることとなった。合わせて石橋専務理事が事務局長に就任した。10 月、東京で理事会が開催されオブザーバーとして Marketing Society of Korea を招聘した。韓国は 2011 年の総会において正式加盟の予定。

理事会に合わせて、AMF/JMA セミナーを開催した。コトラー教授の最新作『Marketing3.0』の共著者ヘルマン氏による講演と、ソウル大学キム教授による「韓国企業の強さの秘密」を解き明かす講演が行われた。

## II. 本部活動状況

### 1. マーケティングに関する調査及び研究

#### ◆ マーケティング・フィロソフィー/リサーチ・プロジェクト

- 「マーケティング・イノベーション 21」研究プロジェクト (MI21)  
2000 年より、「マーケティング・イノベーション 21」研究プロジェクト (MI21) を立ち上げ 2004 年には「MI21 II」調査を実施し書籍『マーケティング優良企業の条件』（日本経済新聞出版社）の発刊をおこなった。  
2009 年度は、科学研究費補助金による支援を受け、JMA 内のリサーチ・プロジェクト（調査研究員会）と共同で「MI21 (III)」調査を事業部門のトップ（ディビジョン・プレジデント）を対象に実施し、市場志向度とマーケティング力の分析をすすめる。2010 年度には「事業のビジネス戦略とマーケティングに関する調査」報告セミナー『市場志向によるマーケティング力強化によって、変革時代の再起動を！』2010 を実施した。

**「事業のビジネス戦略とマーケティングに関する調査」報告セミナー**  
『市場志向によるマーケティング力強化によって、変革時代の再起動を！』2010

開催日	テ ー マ	講 師
5月28日 (金)	オープニング MI21 プロジェクトについて	(社)日本マーケティング協会 理事長(法政大学 経営大学院教授) 嶋口 充輝氏
	「事業のビジネス戦略とマーケティングに関する調査」結果報告 1	(株)インテージ マーケティングソリューション 第1ユニット 副ユニットディレクター 高橋 直武氏
	「事業のビジネス戦略とマーケティングに関する調査」結果報告 2	(株)インデックス・アイ 取締役 小田 宜夫氏
	<パネル・ディスカッション> 「マーケティング力による変革時代の再起動を目指して」	ライオン(株) ヘルスケア事業本部 ビューティケア事業部ブランドマネジャー 須崎 優氏 TOTO(株) コミュニケーション推進部 企画主査 小代 禎彦氏 首都大学東京大学院 社会科学研究所 経営学専攻准教授 水越 康介氏 コーディネーター： 武蔵大学 経済学部経営学科 准教授 黒岩健一郎氏
会場：(社)日本マーケティング協会 アカデミーホール 参加者：47名		

#### ◆ マーケティング・リサーチの現状に関するアンケート

- 日本のマーケティング・リサーチ向上のため、昭和 60 年から 2 年に一度定期的に実施しているアンケート調査は、今回で 14 回のアンケート調査を実施。その成果は、「企業におけるマーケティング・リサーチの実行と活用」についての趨勢がわかり企業がマーケティング・リサーチを実践していく上で有効な指針を与えるものとして、高く評価を得ている。
- 本アンケートの定点観測フレームである「企業におけるマーケティング・リサーチの実行と活用」について時系列で観測し、現時点での経営の意思決定に役立つマーケティング・リサーチの活用法などを、これまでの調査項目を活かしながら、時代のニーズを取り入れ改編を実施し、次年度平成 23 年 4 月に報告会を開催する。

## 2. マーケティングに関する研修会及びセミナー等の実施

### ① 人材育成・教育プログラム

#### ◆ ベーシックコース

- ・ マーケティングを構成する各章の講義の後に修了試験を実施し、まとめの合宿研修を行うハードな内容であったが、参加者も基本枠の理解をグループ演習として積極的に参加し、充実した内容となった。

本コースの内容をまとめた基本書「ベーシック・マーケティング」を新たに刊行し副読本として使い、講師陣に執筆頂いた「マーケティング用語辞典」と共に参加者に配布した。

- ・ カリキュラムは別表の通り。

- ・ 指導講師 顧問 和田 充夫氏 慶應義塾大学名誉教授・関西学院大学 商学部教授  
" 上原 征彦氏 明治大学大学院 教授  
" 住谷 宏氏 東洋大学 経営学部 教授  
委員長 芳賀 康浩氏 青山学院大学 経営学部 教授  
コーディネーター 坂下 玄哲氏 慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 准教授  
" 松下 光司氏 中央大学大学院 戦略経営研究科 准教授  
指導講師 尾上伊知郎氏 武蔵大学 経済学部 教授  
" 恩藏 直人氏 早稲田大学 商学大学院 教授  
" 三浦 俊彦氏 中央大学 商学部 教授  
" 渡辺 達朗氏 専修大学 商学部 教授  
" 久保 知一氏 中央大学 商学部 准教授  
" 須永 努氏 千葉商科大学 サービス創造学部 准教授  
" 田嶋 規雄氏 拓殖大学 商学部 准教授  
" 橋田洋一郎氏 専修大学 経営学部 講師
- ・ 実施期間 水曜コース 平成 22 年 6 月 2 日(水)～7 月 7 日(水) 7 回 65 名(合宿含む)  
木曜コース " 6 月 3 日(木)～7 月 8 日(木) 7 回 41 名(合宿含む)  
合同合宿 " 7 月 13 日(火)～7 月 14 日(水)  
(ハイランドリゾート ホテル&スパ 山梨)  
秋コース 平成 22 年 10 月 21 日(木)～11 月 25 日(木) 7 回 84 名(合宿含む)  
合宿 " 12 月 7 日(火)～12 月 8 日(水)  
(大磯プリンスホテル)

水曜コース

開催日	テ	マ	講 師
6月2日	開講式		
	Sec1	マーケティング発想法	東洋大学 経営学部 教授 住谷 宏氏
	Sec2	環境変化とマーケティング	武蔵大学 経済学部 教授 尾上伊知郎氏
	ケース紹介 I 「我社のマーケティング展開」		武田薬品工業(株) ハルスケアカンパニー マーケティング部長 西窪 栄治氏
懇親会			
6月9日	Sec3	マーケティング戦略の構図	中央大学 商学部 准教授 久保 知一氏
	Sec4	マーケティング・リサーチ	中央大学大学院 戦略経営研究科 准教授 松下 光司氏
	マーケティングの理論はこうすれば役立つ グループ研究発表準備		
6月16日	Sec5	消費者行動分析	千葉商科大学 サービス創造学部 准教授 須永 努氏
	Sec6	製品戦略	中央大学 商学部 教授 三浦 俊彦氏
	ケース紹介 II 「我社のマーケティング展開」		明治製菓(株) 菓子マーケティング部 宣伝媒体グループ長 堀 淳理氏
6月23日	Sec7	価格戦略	中央大学大学院 戦略経営研究科 准教授 松下 光司氏
	Sec8	コミュニケーション戦略	千葉商科大学 サービス創造学部 准教授 須永 努氏
	マーケティングの理論はこうすれば役立つ グループ研究発表準備		
6月30日	Sec9	チャネル戦略	中央大学 商学部 准教授 久保 知一氏
	Sec10	サービス・マーケティング	青山学院大学 経営学部 教授 芳賀 康浩氏
	マーケティングの理論はこうすれば役立つ グループ研究発表準備		
7月7日	修了試験		
	ケースオリエンテーション		
7月13日 合宿研修	Sec11	マーケティングの理論はこうすれば役立つ グループ発表	
	Sec12	ケースメソッドー総合マーケティング戦略ー グループ討議 グループ発表と講評	
7月14日 合宿研修	グループ研究発表コンテスト		
	終講式		

木曜コース

開催日	テ ー マ	講 師
6月3日	開講式	
	Sec1 マーケティング発想法	早稲田大学 商学大学院 教授 恩藏 直人氏
	Sec2 環境変化とマーケティング	青山学院大学 経営学部 教授 芳賀 康浩氏
	ケース紹介 I 「我社のマーケティング展開」	日本たばこ産業(株) たばこ事業本部 M&S グループ ブランド企画部次長 西島 豪氏
懇親会		
6月10日	Sec3 マーケティング戦略の構図	慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 准教授 坂下 玄哲氏
	Sec4 マーケティング・リサーチ	慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 准教授 坂下 玄哲氏
	マーケティングの理論はこうすれば役立つ グループ研究発表準備	
6月17日	Sec5 消費者行動分析	拓殖大学 商学部 准教授 田嶋 規雄氏
	Sec6 製品戦略	専修大学 経営学部 講師 橋田洋一郎氏
	ケース紹介 II 「我社のマーケティング展開」	(株)資生堂 CSR 部長 高山 靖子氏
6月24日	Sec7 価格戦略	専修大学 経営学部 講師 橋田洋一郎氏
	Sec8 コミュニケーション戦略	拓殖大学 商学部 准教授 田嶋 規雄氏
	マーケティングの理論はこうすれば役立つ グループ研究発表準備	
7月1日	Sec9 チャネル戦略	専修大学 商学部 教授 渡辺 達朗氏
	Sec10 サービス・マーケティング	青山学院大学 経営学部 教授 芳賀 康浩氏
	マーケティングの理論はこうすれば役立つ グループ研究発表準備	
7月8日	修了試験	
	ケースオリエンテーション	
7月13日 合宿研修	Sec11 マーケティングの理論はこうすれば役立つ グループ発表	
	Sec12 ケースメソッドー総合マーケティング戦略ー グループ討議 グループ発表と講評	
7月14日 合宿研修	グループ研究発表コンテスト	
	終講式	

## 秋コース

10月21日	開講式	
	Sec1	マーケティング発想法 早稲田大学 商学大学院 教授 恩藏 直人氏
	Sec2	環境変化とマーケティング 青山学院大学 経営学部 教授 芳賀 康浩氏
	ケース紹介 I 「我社のマーケティング展開」 森永製菓(株) 菓子マーケティング部 プロダクトマネージャー 松田 和之氏	
懇親会		
10月28日	Sec3	マーケティング戦略の構図 慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 准教授 坂下 玄哲氏
	Sec4	マーケティング・リサーチ 慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 准教授 坂下 玄哲氏
	マーケティングの理論はこうすれば役立つ グループ研究発表準備	
11月4日	Sec5	消費者行動分析 拓殖大学 商学部 准教授 田嶋 規雄氏
	Sec6	製品戦略 専修大学 経営学部 講師 橋田洋一郎氏
	ケース紹介 II 「我社のマーケティング展開」 カゴメ(株) 東京支社 営業推進部長 宮地 雅典氏	
11月11日	Sec7	価格戦略 専修大学 経営学部 講師 橋田洋一郎氏
	Sec8	コミュニケーション戦略 拓殖大学 商学部 准教授 田嶋 規雄氏
	マーケティングの理論はこうすれば役立つ グループ研究発表準備	
11月18日	Sec9	チャンネル戦略 専修大学 商学部 教授 渡辺 達朗氏
	Sec10	サービス・マーケティング 青山学院大学 経営学部 准教授 芳賀 康浩氏
	マーケティングの理論はこうすれば役立つ グループ研究発表準備	
11月25日	修了試験	
	ケースオリエンテーション	
12月7日 合宿研修	Sec11 マーケティングの理論はこうすれば役立つ グループ発表	
	Sec12 ケースメソッドー総合マーケティング戦略ー グループ討議 グループ発表と講評	
12月8日 合宿研修	パネルディスカッション	
	終講式	

### ◆ マーケティング・マスターコース

- ・ 幅広い実務経験と独自の専門領域を持つマーケター(マイスター)が中心となり、実務をベースとしたカリキュラムの編成、指導講師、論文指導を担当していただいた。
- ・ カリキュラムは、24科目合計170セッションからなり、マイスターを中心とした延べ160人の実務家講師による指導は、内外で高い評価をいただき、平成22年の7月には、第16期の卒業生35名にマスターの称号を授与した。
- ・ 第17期マスターコースでは、新しく3名のマイスターに加わっていただいた。新しい科目とし

て「次世代マーケティング手法」を新設し、また授業の形式もインタラクティブな授業など、カリキュラムをさらに充実させ、現在第4クォーターに入っており、マイスターの熱心な指導により、受講者も積極的な参加と論文作成に入ることになっている。

- ・ 実施時期 平成 22 年 9 月 3 日～23 年 7 月 21 日(現在実施中)
- ・ 参加者 41 名

【マイスター代表】

平成 22 年 9 月 3 日

網谷 駿介氏 日本電信電話(株) 常勤監査役

【マイスター】

浅田 和実氏 ㈱紀文食品 チーフマーケティングアドバイザー  
 天野 克美氏 キッコーマン(株) 取締役常務執行役員  
 伊賀 聡氏 ㈱博報堂 第一プランニング局チームリーダー  
 池田 和広氏 ㈱博報堂 プロモーションセンター シニアカスタマーマーケティングディレクター  
 石井 龍夫氏 花王(株) Web作成部長  
 今田 純氏 ㈱日経BP 広告マーケティング調査部次長  
 大田 吉一氏 日本水産(株) 社史編纂室室長  
 大塚 義幸氏 チェスコ(株) 代表取締役社長  
 岡本 慶一氏 EX・D工房(東京富士大学経営学部教授、元(株)電通)  
 小野寺健司氏 ㈱博報堂 研究開発局上席研究員(明治大学 経営学部特別招聘教授)  
 柿沼 勝則氏 ㈱電通 法務室専任部長  
 樺沢 正人氏 ㈱NTTドコモ プロモーション部長  
 川名 周氏 ㈱博報堂 エンゲージメントプランニング局局長  
 貴田 晃氏 日産自動車(株) マーケティング本部販売促進部長  
 桑原 和彦氏 ㈱電通 電通総研 インサイト・センター研究主席  
 幸島 武氏 西洋フード・コンパスグループ(株) 代表取締役社長  
 小松 洋支氏 ㈱電通 第3クリエイティブ局エグゼクティブクリエイティブディレクター  
 佐藤 尚樹氏 ㈱アサツーディ・ケイ 第1コミュニケーションプランニングエグゼクティブディレクター  
 島谷 庸一氏 ㈱資生堂 執行役員  
 白岩 信之氏 東芝総合人材開発(株) 取締役営業研修部長  
 須藤 雅紀氏 ㈱日立製作所 ブランド・コミュニケーション本部副本部長  
 田中富美枝氏 ㈱電通 ストラテジック・プランニング局戦略コンサルティング室シニア・コンサルティング・ディレクター  
 豊田 実氏 日清製粉(株) 取締役営業本部副本部長兼東京営業部長  
 西尾 英明氏 ㈱ブリヂストン 海外マーケティング部主任部員  
 西川 昌人氏 花王(株) ファブリック&ホームケア事業エグゼクティブグループ 部長  
 沼本 康明氏 情報戦略研究所 所長(元日本電気(株))  
 東方 久光氏 ㈱大広 大阪第1コミュニケーションデザイン局ブランドデザインセンター代表  
 広村 俊悟氏 トップパンフォームズ(株) 常務取締役  
 福島 常浩氏 ㈱ぐるなび 取締役総合政策室長  
 福德 俊弘氏 ㈱スクウェア・エニックス・ホールディングス 社長付 グループオンライン戦略統括  
 藤崎 義久氏 日本たばこ産業(株) 常務執行役員たばこ事業本部マーケティング&セールス責任者  
 堀井 美恵氏 NTTコミュニケーションズ(株) チャネル営業本部ディレクトマーケティング部法人コンタクトセンター所長  
 松原 靖広氏 ㈱電通 ストラテジック・プランニング局ソリューションデザイン室長  
 丸山 泰氏 ライオン(株) 生活者行動研究所主席研究員  
 水嶋 敦氏 ㈱東急エージェンシー クリエイティブソリューション本部 QPR 推進担当局長  
 宮田 應秀氏 森永製菓(株) コーポレートコミュニケーション部部長  
 宮地 雅典氏 カゴメ(株) 東京支社営業推進部長  
 柳井慎一郎氏 サントリー食品(株) 食品事業部部長  
 山本 浩一氏 ㈱電通 電通総研 コミュニケーション・ラボ室長  
 和田 龍夫氏 サントリー酒類(株) 宣伝部長  
 渡邊 啓氏 ㈱博報堂 人材開発戦略室 グループマネージャー

【アカデミック アドバイザー】

秋元真理子氏	明治学院大学 大学院 講師(櫛旭リサーチセンター 主幹研究員)
朝野 熙彦氏	首都大学東京 大学院社会科学部研究科客員教授
上原 征彦氏	明治大学 大学院グローバル・ビジネスマネジメント研究科教授
恩藏 直人氏	早稲田大学 商学大学院教授
亀井 昭宏氏	早稲田大学 商学大学院教授
仁科 貞文氏	青山学院大学 名誉教授
松井 陽通氏	東京成徳大学 経営学部教授
三村優美子氏	青山学院大学 経営学部教授

- ・ コース構成 4クォーター制、1クォーター5～6科目、計170セッション・毎週水曜日
- ・ 第1クォーター (平成22年9月8～11月17日)
  - 1時限 9:30～10:50 マーケティング・マネジメント戦略
  - 2時限 11:00～12:20 文化とマーケティング
  - 3時限 13:10～14:30 プランニング&プレゼンテーション  
(9月29日～11月10日 セールスプロモーション)  
(11月17日 ゼミ形式による論文研究)
  - 4時限 14:40～16:00 コンシューマーインサイト
  - 5時限 16:10～17:30 商品・価格政策 I
- ・ 第2クォーター (11月24日～平成23年1月26日)
  - 1時限 9:30～10:50 流通政策
  - 2時限 11:00～12:20 マーケティングリサーチ
  - 3時限 13:10～14:30 ゼミ形式による論文研究  
(12月22日～3月2日 ブランド政策)
  - 4時限 14:40～16:00 広告表現とクリエイティブ
  - 5時限 16:10～17:30 商品・価格政策 II
- ・ 第3クォーター (2月2日～3月23日)
  - 1時限 9:30～10:50 CRM-顧客との関係づくりのシステムー
  - 2時限 11:00～12:20 マーケティングイノベーション研究  
(2月16日～3月23日マーケティングコンプライアンス)
  - 3時限 13:10～14:30 ブランド政策  
(3月16日～4月20日 ゼミ形式によるブランド研究)
  - 4時限 14:40～16:00 グローバルマーケティング  
(2月16、23日マーケティングイノベーション研究)
  - 5時限 16:10～17:30 マーケティング・コミュニケーション計画
- ・ 第4クォーター (3月30日～5月25日)
  - 1時限 9:30～10:50 デジタル社会のコミュニケーション
  - 2時限 11:00～12:20 営業プロセスマネジメント
  - 3時限 13:10～14:30 ゼミ形式によるブランド研究  
(5月11日～5月25日 生活イノベーション研究)
  - 4時限 14:40～16:00 次世代マーケティング手法  
(4月27日～5月25日 デザインとマーケティング)
  - 5時限 16:10～17:30 企業経営におけるコミュニケーション
- ・ 3月～6月担当マイスターの指導による論文作成期間

## ◆ エグゼクティブ・マーケティング・コース

- ・ 事業運営全体に責任を持つエグゼクティブの立場から、いかに成長の仕組みを構築・実行していくかを学ぶ場としてエグゼクティブ・マーケティング・コースを昨年に引き続き実施した。
- ・ 現代マーケティングの教育・研究に携わる第一級の学者・コンサルタント、企業経営者を招き、レクチャー・ケース討議・講演と盛りだくさんの内容でハードなスケジュールであったが、講師との間や参加者相互で熱のこもった活発な議論がくりひろげられ、実りの多い充実したコースとなった。
- ・ 各回ごとのテーマと講師は別記のとおりである。
- ・ 委員長 上原 征彦氏 明治大学大学院 グローバル・ビジネス研究科 教授  
主 幹 金 顕哲氏 ソウル大学国際大学院 教授  
講 師 上原 征彦氏 明治大学大学院 グローバル・ビジネス研究科 教授  
〃 金 顕哲氏 ソウル大学国際大学院 教授  
〃 石井 淳蔵氏 流通科学大学 学長  
〃 榊原 清則氏 慶應義塾大学 総合政策学部 教授  
〃 小田部正明氏 テンプル大学 フォックス経営大学院 教授  
〃 恩藏 直人氏 早稲田大学 商学学術院長・教授  
〃 小野 譲司氏 明治学院大学 経済学部教授  
〃 近藤 公彦氏 小樽商科大学 ビジネススクール教授  
〃 魚谷 雅彦氏 日本コカ・コーラ(株) 取締役会長  
〃 堂山 昌司氏 マイクロソフト(株) 代表執行役副社長 コンシューマー&オンライン事業部担当
- ・ 実施期間 平成22年7月26日(月)～7月31日(土) 6日間
- ・ 開催地 北海道・札幌 札幌全日空ホテル
- ・ 参加者 25名

### 平成22年度エグゼクティブ・マーケティング・コース

開催日	テ ー マ	講 師
7月26日(月)	開校式	(社)日本マーケティング協会 会長 後藤 卓也氏
	オリエンテーション	明治大学大学院 グローバル・ビジネス研究科 教授 上原 征彦氏 ソウル大学国際大学院 教授 金 顕哲氏
	基調講演	明治大学大学院 グローバル・ビジネス研究科 教授 上原 征彦氏
7月27日(火)	事業戦略(レクチャー・ケース討議)	慶應義塾大学 総合政策学部 教授 榊原 清則氏
	ブランド戦略(レクチャー・ケース討議)	早稲田大学 商学学術院長 ・教授 恩藏 直人氏
7月28日(水)	グローバル戦略 (レクチャー・ケース討議)	テンプル大学 フォックス経営大学院 教授 小田部正明氏
	マーケティング賢人講話 「ここを動かすマーケティング」	日本コカ・コーラ(株) 取締役会長 魚谷 雅彦氏
	マーケティング・ワークショップ I	

7月29日(木)	ビジネス・プロセス・マネジメント (レクチャー・ケース討議)	ソウル大学国際大学院 教授 金 顕哲氏
	マーケティングの新潮流 「サービス・ドミナント・ロジックで考える価値共創の革新」	明治学院大学 経済学部 教授 小野 譲司氏
	マーケティング・ワークショップ II	
7月30日(金)	マーケティングの新潮流 「リレーションシップマーケティングの展開-コトラーの向こう側-」	小樽商科大学 ビジネススクール 教授 近藤 公彦氏
	エグゼクティブ講話 「なぜ世界でWindowsは買われるのか？」	マイクロソフト(株) 代表執行役副社長 コンシューマー&オンライン事業部担当 堂山 昌司氏
	技術とマーケティング (レクチャー・ケース討議)	明治大学大学院 グローバル・ビジネス研究科 教授 上原 征彦氏
	講師からの提言とディスカッション 懇親会	
7月31日(土)	マーケティング・クリエイティブ (レクチャー)	流通科学大学 学長 石井 淳蔵氏
	終講式	(社)日本マーケティング協会 理事長 嶋口 充輝氏

## ② 調査研究プログラム

### 新領域に挑戦する研究会

同一の参加者に対して、同一テーマで数カ月にわたりレクチャーやディスカッションを複数回(CSRブランディング実践講座は1回)実施するものを研究会と称している。

#### ◆ BtoB マーケティング研究会 戦略テーマに沿って事例から学ぶ「BtoB マーケティング」

- 開催日 9月24日～2月18日 全6回  
参加者 26名
- 企画内容、運営などについてご指導いただく BtoB マーケティング企画委員会に企画内容、運営などについてご指導頂き、BtoB マーケティング研究を推進した。
- BtoB マーケティング企画委員会  
委員長 黒須 聡氏 Yokogawa Electric Corporation Asia 社長  
委員 余田 拓郎氏 慶應義塾大学 大学院経営管理研究科教授  
高林 和明氏 東レ(株) マーケティング企画室長  
松井 慶生氏 横河電機(株) IA 事業部マーケティングセンター企画室企画2グループ グループリーダー  
徳永 朗氏 (株)博報堂 研究開発局 グループマネージャー/主席研究員  
齋藤 淳一氏 (株)電通 ストラテジック・プランニング 局戦略コンサルティング 室コンサルティング・ディレクター  
上田 茂数氏 大成建設(株) 営業推進本部 企画推進部 マーケティング 室長  
モデレーター 黒岩健一郎氏 武蔵大学 経済学部経営学科准教授

開催日	テーマ	講師
第1回 9月24日 (金)	市場のセグメンテーション/ターゲティング戦略	
	オリエンテーション 「ダイフクのFA&DA事業」	慶應義塾大学大学院 経営管理研究科教授 余田 拓郎氏 (株)ダイフク FA&DA 営業本部 マーケティング部 担当課長 谷口 央氏

第2回 10月29日 (金)	顧客ニーズ対応や需要創造を図る製品戦略 「東洋製罐の価値創造と製品戦略」	東洋製罐(株) 営業本部 マーケティング部長 篠田 和正氏
第3回 11月26日 (金)	市場のセグメンテーション/ターゲティング戦略 「村田製作所の携帯電話用部品事業」	(株)村田製作所 営業本部 マーケティンググループ 販売促進部 部長 備前 達生氏
第4回 12月17日 (金)	グローバル事業展開を支える統合マーケティング戦略 「"Little Parts. Big Difference." -副資材のマーケティング」	YKK(株) 取締役副社長 ファスニング事業本部長 猿丸 雅之氏
第5回 2011年 1月14日 (金)	事業変革を強化する BtoB 固有のマーケティング戦略 「これからの BtoB 企業に求められる 価格戦略」	サイモン・クチャーアント・パートナーズジャパン(株) コンサルタント 中村 裕之氏
第6回 2011年 2月18日 (金)	事業変革を強化する BtoB 固有のマーケティング戦略 「マーケティング戦略を効率的に機能 させるシステムティックな営業戦略 との連携」	(株)セールスフォース・ドットコム 執行役員 コーポレートセールス本部長 福田 康隆氏
	ディスカッション	

#### ◆ ソーシャルマーケティング研究

##### CSR ブランディング実践講座

講師 海野みづえ氏 (株)創コンサルティング 代表取締役  
細田 悦弘氏 キヤノンマーケティングジャパン(株) CSR 推進本部主席  
実施期間 平成 22 年 7 月 21 日(水)  
会場 (社)日本マーケティング協会 アカデミーホール  
参加者 16 名

講演と演習を通じて企業のマーケティング力向上に貢献する CSR ブランディングの理解とさプランニングの方法を習得してもらった。

##### CSR ブランディング実践講座

～企業ブランド向上のための CSR マーケティング・プランニング～

開催日	テーマ	講師
7月21日 (水)	「戦略的 CSR で企業価値の訴求を：ステークホルダー視点の CSR ブランディング」	(株)創コンサルティング 代表取締役 海野みづえ氏
	「時代が求める新しい企業競争力としての' CSR ブランディング' の実践」	キヤノンマーケティングジャパン(株) CSR 推進本部主席 細田 悦弘氏
	演習の準備 ・ オリエンテーション ・ 参加企業の組織プロフィールの作成 ・ モデルケースの説明とワークショップへの導入	海野みづえ氏 細田 悦弘氏
	演習 1：「CSR ブランディングの構造を理解する」 ・ 組織プロフィールから、その会社のアイデンティティとコアバリューを分析・把握する ・ 自社「らしさ」を探求し、絞り込む ・ CSR 視点のブランド・プロミスを考案する	

	演習 2:「自社「らしさ」の『見える化』と『魅せる化』を試みる」 ・ステークホルダーとの接点をどうマネジメントし、評価するのか ・それをどのように、外部に伝えるか	
	発表と討議	
会場：社団法人 日本マーケティング協会アカデミーホール 参加者：16名		

◆ ニューロマーケティング研究会

コーディネーター 恩藏 直人氏 早稲田大学 商学学術院長・教授  
小野寺健司氏 (株)博報堂 研究開発局上席研究員  
実施期間 平成 22 年 6 月 29 日(火)～平成 23 年 7 月 20 日(火)  
会場 (社)日本マーケティング協会 アカデミーホール  
参加者 42 名

「五感ブランディング」をキーワードに、脳科学研究の最新の動向や、五感を意識した製品開発、デザイン、コミュニケーション、ブランディング、消費者研究、マーケティング・リサーチの分野での新しい動向などについて紹介した。

「五感ブランディング研究会」  
～五感の活用でブランドの感性価値を高める～

開催日	テーマ	講師
6 月 29 日 (火)	「感性価値を高めるブランディング」	早稲田大学 商学学術院長・教授 恩藏 直人氏
	「香りのブランディングの最新潮流と応用」	アットアロマ(株) 代表取締役社長 片岡 郷氏
	「五感ブランディングの開発事例」	全日本空輸(株) 商品戦略室室長 加藤 勝也氏
	「五感活用のブランディングと測定・評価」	(株)博報堂 研究開発局上席研究員 小野寺健司氏
7 月 6 日 (火)	「五感をデザインする」その視点と手法の探索	東北芸術工科大学教授 平林 千春氏
	「空間開発における五感視点の重要性」	(株)竹中工務店 技術研究所企画部 課長代理 石川 敦雄氏
	「視覚のコミュニケーションとマーケティングへの応用」	DIC カラーデザイン(株) 代表取締役社長 池田 尚志氏
	「五感とデザイン」	(株)HAKUHODO DESIGN 代表取締役社長 永井 一史氏
	「感性価値評価の新しい取り組み」	(株)DNP メディアクリエイト 買い場研究所シニア研究員 若江 正敏氏
7 月 20 日 (火)	「五感志向の製品開発の実例」	日本たばこ産業(株) たばこ事業本部 マーケティング&セールスグループ ブランド企画部次長 石澤 隆志氏
	「五感志向の製品開発の実例」	パイオニア(株) プロ SV 事業部参事 橋本 元司氏
	「ブランドらしさを強化する五感ブランディング」	(株)博報堂 リュウシヨウビジネス局 ブランドデザイン部部長 宮澤 正憲氏

	<p>パネルディスカッション 「ブランド価値を高める感性や五感の可能性」</p>	<p>早稲田大学 商学学術院長・教授 恩藏 直人氏 (株)DNP メディアクリエイト 買い場研究所シニア研究員 若江 正敏氏 日本たばこ産業(株) たばこ事業本部 マーケティング&amp;セールスグループ ブランド企画部次長 石澤 隆志氏 パイオニア(株) プロ SV 事業部参事 橋本 元司氏 (株)博報堂 リュウシヨウビジネス局 ブランドデザイン部 部長 宮澤 正憲氏 (株)博報堂 研究開発局上席研究員 小野寺健司氏</p>
<p>コーディネーター：恩藏 直人氏(早稲田大学 商学学術院長・教授) 小野寺健司氏(株)博報堂 研究開発局上席研究員) 会場：(社)日本マーケティング協会 アカデミーホール 参加者：42名</p>		

◆ 次世代マーケティングプラットフォームの研究

(マーケティング研究開発プロジェクト研究会)

- ・ 本年度は、e マーケティング研究、マーケティング・サイエンス研究プロジェクト、モバイル・マーケティング研究プロジェクトの3プロジェクトを実施した。マーケティングの先端的課題に関して各参加者とコーディネーター、アドバイザー、そしてその分野での最新のケースを報告するゲスト講師によるディスカッション・ワークショップなどが実施され成果をあげた。
- ・ マーケティング研究開発プロジェクトの各研究会オープニングセミナーでは、各研究テーマの報告と、本年度の研究会の基調となるディスカッション、各分野を代表する外部講師と研究会コーディネーター・アドバイザーからの提言・展望などがあり、多数の参加者を集め、外部への情報発信がすすめられた。

次世代マーケティングプラットフォームの研究 マーケティング研究開発プロジェクト

研究会名	コーディネーター
<p>マーケティングサイエンス研究 「テクノロジー進展による『拡』マーケティング研究会」 ～マーケティングリサーチの進化と代替的手段を展望する～ 2010年6月21日～2011年4月18日 全8回</p>	<p>コーディネーター： (株)野村総合研究所 グローバル戦略コンサルティング部上席コンサルタント 兼 立命館大学大学院 経営管理研究科 教授 鳥山 正博氏 (株)インテージ マーケティングイノベーションユニット ソリューション開発部部長 高山 佳子氏 (株)インテージ マーケティングイノベーションユニット ネットパネ企画開発部部長 長崎 貴裕氏 (株)電通関西支社 統合ソリューション局 ストラテジスト 長谷川 想氏 日産自動車(株) 市場情報室 主管 高橋 直樹氏 アドバイザー： 慶應義塾大学 商学部 教授 清水 聰氏</p>
<p>会場：社団法人 日本マーケティング協会アカデミーホール 参加者 23名 オープニングセミナー 参加者：58名 ゲスト：日産自動車(株) 執行役員 市場情報室長 星野 朝子氏</p>	

<p>e マーケティング研究 「トリプルメディア時代のコミュニケーション」研究会 ～ Paid, Owned, Earned Media を組み合わせたマーケティングを探る～ 2010年11月26日～2011年5月 全7回</p>	<p>コーディネーター： (株)電通 パブリック・アカウント局 アカウント・スーパーバイザー 日高 靖氏 (株)電通コンサルティング 代表取締役社長 及川 直彦氏 (株)アサツーディ・ケイ デジタルマーケティング戦略室 ストラテジスト 太駄 健司氏 アドバイザー： 首都大学東京大学院 社会科学研究科 経営学専攻准教授 水越 康介氏 (株)電通 マーケティングサービス事業局 局次長 矢川 直弘氏</p>
<p>会場：社団法人 日本マーケティング協会アカデミーホール 参加者：29名 オープニングセミナー 参加者：97名 ゲスト：(株)ADK インタラクティブ 代表取締役社長 横山 隆治氏 サントリー酒類(株) 宣伝部長 和田 龍夫氏</p>	
<p>モバイル・マーケティングプロジェクト 「トリプルメディアを視野に入れたモバイル・マーケティング」セミナー 2011年3月10日</p>	<p>(株)電通デジタル・ホールディングス 取締役兼専務執行役員 藤田 明久氏 (株)電通コンサルティング 代表取締役社長 及川 直彦氏 (株)ディーツーコミュニケーションズ 営業推進本部 本部長兼広報宣伝部部長 篠崎 功氏</p>
<p>会場：社団法人 日本マーケティング協会アカデミーホール オープニングセミナー 参加者：85名 ゲスト：日本コカ・コーラ(株) ハイスプレジデント インタラクティブ・マーケティング&amp;システムイノベーション 江端 浩人氏 (株)ミクシィ メディアビジネス本部本部長 辻 正隆氏 JaM Japan Marketing LLC創設者&amp;マネージングメンバー 大柴ひさみ氏</p>	

### ③ セミナープログラム

#### ◆ 演習つきセミナー

マーケティング・プランニング力 スキル&センスアップ講座  
～企画からプレゼンテーションまでの実践形式に学ぶ～

開催日	テ ー マ	講 師
6月14日 (月)	<p>開講オリエンテーション 講義：マーケティング・プランニングの基本プロセス 一企画は「する」「書く」「描く」もの— ショート・ケーススタディ(個人演習) (プランニングの基本作法) 「問題」「課題」抽出とシナリオ作成 ワークショップ(グループワーク) 「課題：団塊世代に向けての新市場創造のプランニング」 -新製品・新サービスの開発演習- ①市場チャンスの発見 ③ 事業(仕組み)発想 ④ ランニング・シナリオ作成</p>	(株)マップス 代表取締役 清野 裕司氏
6月15日 (火)	<p>ワークショップ(グループワーク)継続 ④ランニングシート(企画書)の作成 (異業種の参加者同士でのグループ討議)</p>	

	講義: プレゼンテーション・パフォーマンスを向上させるポイント	
	ワークショップ(プレゼンテーション準備)	
	グループ別プレゼンテーション [1Gr. 15分発表/質疑5分]	
	講義: 全体講評とプランニングの心得	
会場: 社団法人 日本マーケティング協会アカデミーホール 参加者: 51名		

**課題解決のためマーケティングリサーチ実践講座**  
～マーケティング・リサーチの基礎から調査企画作成まで～

開催日	テ ー マ	講 師
7月13日 (火)	「オリエンテーション」 課題解決のためのマーケティングリサーチ →今、マーケティングリサーチに求められていることは	(株)電通リサーチ 開発推進部部長 山崎 敏氏
	「マーケティングリサーチの役割と活用についての考察」 ・最近の作業事例にみるリサーチ・テーマの傾向 ・課題解決に向けての視点・留意点	(株)電通リサーチ 開発推進部 主務 武田 互生氏
	「課題解決に向けたマーケティングリサーチの設計」 ・課題解決に向けてのアプローチ手法 →定量調査・定性調査の手法別特性と役割 →定性調査の手法あれこれ ・課題別の調査ミックス事例	(株)電通リサーチ 開発推進部主務 工藤 陽子氏
	「リサーチをマーケティング活動にどう活用するか」	キッコーマン食品(株) プロダクト ・マネジャー室プロダクト・マネジャー 中島みどり氏 営業企画部 市場調査グループ 大木 隆江氏
	「グループ演習オリエンテーション」	(株)電通リサーチ 開発推進部 PM 渡邊 瑞規氏
	「グループ演習: 調査企画書作成」 ・項目設計: 課題整理～調査仮設構築～調査項目設定～	(株)電通リサーチ 開発推進部主務 武田 互生氏 開発推進部主務 工藤 陽子氏
	「グループ発表」 「講師を囲み情報交換会」	
会場: 社団法人 日本マーケティング協会アカデミーホール 参加者: 54名		

**新価値創造の方法論**

～「新価値づくり」「コトづくり」「シナリオづくり」を習得しよう～

開催日	テ ー マ	講 師
9月27日 (月)	講演と演習: 「ビジネスを動かす編集能力: 情報構成力と新価値創造、プロデューサーの役割」	(株)編集工学研究所 プロデューサー 大川 雅生氏
	講演: 「新価値づくり」・「コトづくり」・「シナリオづくり」の基礎: Change⇒Chance⇒Choice	パイオニア(株) プロ SV 事業部 参事 橋本 元司氏
	演習: 「価値共創時代の新価値づくりとコトづくり」①: INSIGHT(顧客洞察)	パイオニア(株) 研究開発部企画課 副参事 松本隆一郎氏

	演習：「価値共創時代の新価値づくりとコトづくり」②：EDIT(新価値編集術) グループ演習： 「シナリオ・プランニングの基礎」：将来を洞察する：FORESIGHT(将来洞察)	
会場：社団法人 日本マーケティング協会アカデミーホール 参加者：28名		

### 実習講座「インサイト実践トレーニング」

～グループ演習方式で消費インサイトのつかみ方を体得する～

開催日	テ ー マ	講 師
10月19日 (火)	「消費者インサイトをつかむポイント」(講義) ・インサイトから新しいプロポジションを生み出す ・「ホンネ」を引き出す、調査方法 ・マーケティング活動に落とし込む	(株)インサイト 代表取締役 桶谷 功氏
	インサイトワークショップ® 「課題提示・グループワーク」 ～20代女性向けの菓子スナックに活かすインサイトを探る～ ・カテゴリーインサイトとヒューマンインサイト	
	「消費者インサイトを活用した商品開発、コミュニケーション開発のポイント」(講義) ・キーインサイトとプロポジションをセットで考える	
	インサイトワークショップ®「グループワーク」 (演習のつづき) 異業種グループで、インサイトワークショップ®を体験	
	「グループ発表」*フリップチャート・プレゼンテーション ・インサイトから製品開発・コミュニケーション企画を発表 ・参加者同士の投票・意見交換・講評	
	「情報交換会」	
会場：社団法人 日本マーケティング協会アカデミーホール 参加者：62名		

### ◆ 基本テーマ主体のセミナー

#### 第5回 AIDEES シンポジウム

『良貨は悪貨を駆逐する：ソーシャルメディアで何が変わるのか?』

開催日	テ ー マ	講 師
11月15日 (月)	挨拶	丸の内ブランドフォーラム 代表 片平 秀貴氏
	基調講演「コミュニケーション革命とエコシステム戦略」	本荘事務所 代表 多摩大学客員教授 本荘 修二氏
	講演「GR WORLD ～ブランドの継承と進化～」	(株)コー パーソナルメディアカンパニー 企画室室長 野口 智弘氏
	講演「アルビオン・こだわりのモノ造り」	(株)アルビオン カスタマーサービス本部 執行役員副本部長 染谷 高士氏

	パネルディスカッション 「良貨が悪貨を駆逐する時代なのか？」	本荘 修二氏 野口 智弘氏 染谷 高士氏 司会：片平 秀貴氏
会場：社団法人 日本マーケティング協会アカデミーホール 参加者：56名		

### 第77回女性のためマーケティング講座(実践コース)

～マーケティングの新しい鼓動～

開催日	テ ー マ	講 師
8月26日 (木)	「消費者意識の変化と新しい価値観に対応したこれからのブランドづくり」	丸の内ブランドフォーラム 代表 片平 秀貴氏
	パネルディスカッション 「これからのマーケティングとブランドづくり」 ～市場の成熟化・エコ意識・メディアの変化・グローバルブランド～	丸の内ブランドフォーラム 代表 片平 秀貴氏 青山ビジネススクール 教授 松浦 祥子氏 ㈱旭リサーチセンター 主幹研究員 秋元真理子氏 ㈱電通 ストラテジック・プランニング局 シニア・コンサルティング・ディレクター 田中富美枝氏
	「料理レシピで広がるコミュニケーション」	クックパッド㈱ 執行役 マーケティング支援事業部事業部長 兼 営業部部長 森下 満成氏
	「新世代電気自動車 i-MiEVのマーケティング」 ～クルマ社会 次の100年へ向けて～	三菱自動車工業㈱ 常務取締役 国内営業統括部門長 相川 哲郎氏
	「アタック Neo の開発」	花王㈱ F&HC 事業ユニット ファブリックケア事業G シニア開発マネージャー 吳 裕利子氏
	「まとめ」 「情報交換会」	
会場：社団法人 日本マーケティング協会アカデミーホール 参加者：71名		

### JMA マーケティング研究開発プロジェクトセミナー

#### 「マーケティングROI 測定技術の新潮流」

～新しい技術であるバイオメトリックスリサーチ(生体反応調査)の活用

開催日	テ ー マ	講 師
12月2日 (木)	「マーケティングROI に向けての諸課題」 ～マーケティングにおける生体反応測定の有効性と必要性～ ・「マーケティングROI の枠組み」 ・「マーケティングにおけるRのとらえ方」	慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授 井上 哲浩氏
	「生体反応測定のマーケティングへの応用」 (英日逐語訳) ・生体反応測定の学術的根拠 ・生体反応測定のマーケティング・リサーチへの応用 ・生体反応の国際比較	ポータルラボラトリー&Co. (株) 創立者&社長 ラファエル・オーム博士

	<p>「生体反応測定を応用したマーケティング ROI 測定」          ～従来の言語を介した調査手法の結果との比較～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本におけるテレビ広告生体反応測定実験結果</li> <li>・ 生体反応測定結果と従来調査手法結果との比較分析</li> <li>・ 生体反応測定で分かること分からないこと</li> </ul>	<p>株NTTデータ スミス          マーケティングリサーチ事業部企画分析部          課長 鈴木 真琴氏</p>
	<p>「Q&amp;A とディスカッション」(英日逐語訳)          「生体反応のマーケティングへの応用」</p>	<p>ラファル・オーム氏          鈴木 真琴氏          コーディネーター：井上 哲浩氏</p>
<p>会場：社団法人 日本マーケティング協会アカデミーホール 参加者：127 名</p>		

◆ 定点観測研究のセミナー

情報メディアの最新潮流と 2011 年の行方

～新春恒例の電通総研『情報メディア白書』の内容を中心として～

開催日	テーマ	講師
2011 年 1 月 20 日 (木)	<p>「デジタルシニアが創る情報メディアの未来」            ～「情報メディア白書 2011」から～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報メディア全般の最新状況(全体レビュー)</li> <li>・ デジタルシニアの台頭～「DENTSU デジタルシニア・ラボ TM」の活動成果から</li> <li>・ シニアから見たデジタルメディアの今後の可能性</li> </ul>	<p>電通総研 デバイス・イノベーション研究部            副主任研究員 井上 忠靖氏</p>
	<p>『消費潮流 2011』～2011 年への消費キーワードは「利己的スマート」～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2010 年消費者が選ぶ話題注目商品ランキング</li> <li>・ ブログ話題度ランキングと口コミ誘発ポイント</li> <li>・ 「利己的スマート」な消費者に対するマーケティングアプローチ</li> </ul>	<p>電通総研 ヒューマン・インタラクション部            研究員 東田 哲明氏</p>
	<p>「タブレット時代のプリントメディア展望」            ～『米国 iPad 利用実態調査』を中心に～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 端末・サービス利用動向の概要</li> <li>・ “読む” 端末としての iPad と電子書籍端末に対する評価</li> <li>・ iPad での電子書籍・電子新聞・電子雑誌の利用動向</li> <li>・ 新しいテキスト文化の時代に向けた展望</li> </ul>	<p>電通総研 テクノロジー・イノベーション部            主任研究員 美和 晃氏            副主任研究員 市原 敬哲氏</p>
<p>会場：社団法人 日本マーケティング協会アカデミーホール 参加者：104 名</p>		

JMA ポケット講座生活動カ 2011 と生活者の新しい見立て方

～新春恒例、博報堂『生活動カ』～

開催日	テーマ	講師
2011 年 3 月 8 日 (火)	<p>「生活動カ 2011」            ～日本型成熟モデルを考える～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本の成熟度を検証する</li> <li>・ 成熟時代の生活者</li> <li>・ 成熟時代の企業行動</li> </ul>	<p>博報堂生活総合研究所            主任研究員 小原 美穂氏</p>

	<p>「若者論再考」～「いまだきのヤツ」をこえて～ 若者に関する言説は、そもそも本当なのか？ 定常化した時代における「欲望のありよう」とは それでも消費を続けねばならない彼/彼女らの、 消費の知恵とは？ 「LOTUS」という新しいライフスタイル仮説</p>	<p>(株)博報堂 研究開発局手塚グループ グループ マネージャー 主席 研究員 手塚 豊氏</p>
	<p>「モノの普及でみるアジアの10年変化」 アジア14都市における耐久消費財の普及パターン 耐久消費財の普及レベルでアジアの都市をグル ープ化 注目商品の現地での使用状況(携帯電話他)</p>	<p>(株)博報堂 研究開発局 グローバルチームリーダー 主席 研究員 中村 済美氏 (株)博報堂 研究開発局 主席 研究員 高月 和子氏</p>
<p>会場：社団法人 日本マーケティング協会アカデミーホール 参加者：76名</p>		

◆ ホット 이슈 主体のセミナー

情報連鎖を生み出すマーケティング ～商品よりも、ニュースを売れ～

開催日	テ ー マ	講 師
<p>4月13日 (火)</p>	<p>基調講演「情報連鎖を生み出すマーケティング」 ～戦略的にニュースをつくり、世の中に広める～ ・ 広告広報部任せでなく、マーケティング担当者自らが情報連鎖を起こす時代の到来 ・ 使える経費が限られていても、世の中に自社と自社商品をアピールし、売上げ増につなげる方法がある ・ マスメディアのジャーナリストやネットのブロガーに応援してもらうために必要な視点 ・ 継続してニュースを発信し、情報連鎖を起こしている企業に学ぶ</p>	<p>ブレインゲイト(株) 代表取締役 CEO 酒井 光雄氏 ブレインゲイト(株) マネージャー 武田 雅之氏</p>
	<p>パネルディスカッション 「情報連鎖を起こす仕組みづくりとは？」 ② 材したくなる企業、商品とは ②「思い」と「視点の新しさ」がある商品を</p>	<p>コーディネーター： ブレインゲイト(株) 代表取締役 CEO 酒井 光雄氏 パネリスト： 日本経済新聞社 日経 MJ 編集長 篠原 昇司氏 (株)カフェグループ・ドット・コム 代表取締役社長 矢野貴久子氏 (株)講談社 グラツィア編集部 大久保洋一氏 テレビ朝日映像(株) 制作本部 第2制作局 ディレクター 加藤 敦氏</p>
<p>会場：社団法人 日本マーケティング協会アカデミーホール 参加者：58名</p>		

JMA マーケティング研究開発プロジェクトセミナー  
『キズナのマーケティング』  
～ソーシャルメディアが切り拓くマーケティング新時代～

開催日	テ ー マ	講 師
7月9日 (金)	開会の挨拶 「マーケティング戦略におけるソーシャル・メディアの意味合い」	コーディネーター： (株)電通コンサルティング 代表取締役社長 及川 直彦氏
	「ソーシャルメディアの理解とソーシャルメディアマーケティングの基礎知識」 ・ ソーシャルメディアとは ・ ソーシャルメディアとソーシャルメディアマーケティング ・ ソーシャルメディアマーケティングの基礎知識 ・ 成功事例と失敗事例の考察 ・ 効果測定を進め方	(株)トライバルメディアハウス 代表取締役社長 池田 紀行氏
	パネルディスカッション 『キズナのマーケティング』 ～ソーシャルメディアが切り拓くマーケティング新時代～ ・ マイクロソフトにソーシャルメディアマーケティングのバイブルができるまで  ・ 消費者のブログに「ありがとう」を伝えるに行く カイトッチ・プロジェクト ・ 花王が展開する「はじめてママの暮らし応援 コミュニティ」顧客とのキズナづくりとは？	コーディネーター： (株)電通コンサルティング 代表取締役社長 及川 直彦氏 マイクロソフト(株) セントラルマーケティング本部 ソーシャルメディアリード 熊村 剛輔氏 貝印(株) 経営企画室 室長 郷司 功氏 花王(株) 作成センター Web 作成部 Web 企画グループ 板橋万里子氏 (株)トライバルメディアハウス 池田 紀行氏
会場：社団法人 日本マーケティング協会アカデミーホール 参加者：79名		

商品開発はなぜうまくいかないのか  
『ヒューマン・センタード・デザイン』と『クラウド・ソーシング』の有効活用

開催日	テ ー マ	講 師
7月23日 (金)	「商品開発はなぜうまくいかないのか」	法政大学 経営学部教授 西川 英彦氏
	「『ヒューマン・センタード・デザイン』による商品・サービス開発」	(株)インフィールドデザイン 代表 佐々木千穂氏
	「『クラウド・ソーシング』による商品・サービス開発」	法政大学 経営学部教授 西川 英彦氏
	「ライオンの商品開発における“生活研究”への取り組み」	ライオン(株) 生活者行動研究所 主席研究員 丸山 泰氏 ライオン(株) 生活者行動研究所 副主席研究員 原 憲子氏
	パネルディスカッション 「『ヒューマン・センタード・デザイン』と『クラウド・ソーシング』の活用のポイントと課題」	西川 英彦氏 丸山 泰氏 原 憲子氏 佐々木千穂氏
会場：社団法人 日本マーケティング協会アカデミーホール 参加者：62名		

**「クチコミ・検索行動へのマスメディアの役割を考える」**  
 ～朝日新聞社とのコラボレーション企画によるコミュニケーション論～

開催日	テーマ	講師
7月29日 (木)	「映画のクチコミ行動における新聞のコミュニケーション効果 ～JMA、電通、博報堂DYメディアパートナーズ、朝日新聞社の共同研究より」 ・新聞によるクチコミ誘発効果 ・知覚リスクとクチコミ行動	早稲田大学 商学学術院長 教授 恩藏 直人氏 早稲田大学 商学部助手 石田 大典氏・石井 裕明氏
	「マスメディア接触と検索行動の影響～ dentsu-CONNECT MEDIA®による新聞読者分析より」 ・新聞読者有無による検索行動の違い ・広告露出と検索行動の関係性	(株)電通 ビジネス統括局 プラットフォーム・ビジネス開発室 マーケティング・スーパーバイザー 春田 英明氏
	パネルディスカッション 「いま、メディアパワーを考える～クチコミ・ 検索行動対応のメディア戦略とは」	パネリスト： (株)ロッテ 宣伝部 制作担当 第一グループ・戦略担当第一グループ 課長 山本 剛史氏  本田技研工業(株) 営業開発室マーケティング戦略ブロック 主任 原 寛和氏 (株)電通 ビジネス統括局マーケティング・ スーパーバイザー 春田 英明氏  司会： (株)博報堂DYメディアパートナーズ メディア・コンテンツソリューション局 ビジネス開発室長 榊原 廣氏
後援：早稲田大学マーケティング・コミュニケーション研究所 (株)電通 (株)博報堂DYメディアパートナーズ 朝日新聞社広告局 社団法人 日本マーケティング協会アカデミーホール 参加者：79名		

**マーケティング・フロンティア セミナー2010**

**「逆境から成功を生み出すマーケティング」**

～レグザ(REGZA)、いろ・は・す(ILOHAS)の成功から学ぶ「大逆転」戦略～

開催日	テーマ	講師
8月6日 (金)	基調講演 「逆境から成功を生み出すマーケティングとは」 ～『大逆転のブランディング』から～	コーディネーター： 中央大学大学院 戦略経営研究科 教授 田中 洋氏 (中央大学ビジネススクール)
	「東芝 レグザ(REGZA) のマーケティング」 ～逆転ヒットを生み出す「こだわり」のマーケティング～ ・ <レグザ>のポジショニング ・ <レグザ>ヒットのきっかけ ・ <レグザ>ヒットのシナリオ	(株)東芝 ビジュアルプロダクツ社 映像マーケティング事業部 映像グローバルマーケティング部 参事 本村 裕史氏
	「日本コカコーラ いろ・は・す(I LOHAS)のマーケティング」 ～思い切った新ブランドの投入と集中～ ・ 商品・ブランドの開発の背景 ・ 商品コンセプトと導入戦略 ・ 現状及び今後の展開	日本コカ・コーラ(株) マーケティング本部 ウォーターカテゴリー 統括部長 福江 晋二氏

Q&A/ディスカッション 「逆境から成功を生み出すマーケティングとは」 レグザ(REGZA) い・ろ・は・す(I LOHAS)のケースをどう活かせるか	コーディネーター： 中央大学大学院 戦略経営研究科 教授 田中 洋氏 (中央大学ビジネススクール)
会場：社団法人 日本マーケティング協会アカデミーホール 参加者：64名	

### メディアパワー検証連続セミナー②

「もっと引き出せ、テレビのちから」～テレビを活用したマーケティング・コミュニケーションの変化～DAY1  
ネット全盛の中でもパワーを保持する TV 媒体の検証

開催日	テーマ	講師
9月9日 (木)	「マーケティングにおけるテレビの役割変化」	上智大学 文学部新聞学科教授 音 好宏氏
	「時代を見据えたテレビの使用事例」 ～番組との親和性ある企画や独自の展開のケース(CMなど)を映像で紹介～	(株)電通 テレビ&エンタテインメント局 計画推進部 吉村 行夫氏
	「テレビ局の質的イノベーション」ケース	九州朝日放送 テレビ制作部 下妻 宏平氏
	ディスカッション、Q&A 「もっと引き出せ、テレビのちから」 ～スポンサーサイドから見たテレビを活用したマーケティング・コミュニケーションの変化～	ゲスト： 花王(株) グローバルメディア企部門 メディア企画センター1 室室長 立山 昭洋氏 明治製菓(株) 菓子マーケティング部 宣伝媒体グループ長 堀 淳理氏 コーディネーター： 上智大学 文学部新聞学科教授 音 好宏氏
会場：社団法人 日本マーケティング協会アカデミーホール 参加者：153名		

### メディアパワー検証連続セミナー③

「CMのちからはテレビのちから」～もっと引き出せ、テレビのちから DAY2～  
TVメディアのパワーの一翼を担うスーパークリエイターにCMの力を語ってもらう

開催日	テーマ	講師
10月18日 (月)	「もうひとつのコンテンツ、CMのちから」 マーケティング・コミュニケーション戦略におけるテレビCMの総括と評価 コンテンツとしてのCM そのマーケティング・パワー、ソーシャル・パワー	上智大学 文学部新聞学科教授 音 好宏氏
	「視聴者のためのCMを作ろう」	(株)ワトソン・クリック クリエイティブ ディレクター /CMプランナー 中治 信博氏
	「まじめにふざける。～右脳から発信するCM」	(株)ワトソン・クリック クリエイティブ ディレクター /CMプランナー 山崎 隆明氏
	ディスカッション、Q&A 「CMのちからはテレビのちから」	中治 信博氏 山崎 隆明氏 コーディネーター： 音 好宏氏
会場：社団法人 日本マーケティング協会アカデミーホール 参加者：113名		

**顧客行動の変化へ対応したマーケティング**  
～メディアにおける顧客との価値共創～

開催日	テ ー マ	講 師
11月1日 (月)	「購買行動の変化に対応したマーケティング」 ～メディアの特性を活かすためには～	(株)トヨタマーケティングジャパン 代表取締役社長 高田 坦史氏
	「情報共有時代のオーディエンス」 ～購入前のメディア接触と購入後の情報共有 の関係～	日本新聞協会広告委員会 プロモーション部会マーケティング戦略チーム 委員 佐々木竜介氏 (毎日新聞社 広告局企画マーケティング部 副部長)
	「生活情報誌 Mart による消費を動かす力」 ～情報共有による商品開発・消費ブームをど う起すのか～	(株)光文社「Mart」編集長 兼 Mart コンテツ事業部長 大給 近憲氏
	「情報共有時代の広告・クリエイティブ」 ～ひびいてつながるコピーとは～	(株)渡辺潤平社 コピーライター 渡辺 潤平氏
会場：社団法人 日本マーケティング協会アカデミーホール 参加者：119名		

**集客型流通から顧客に近づく流通**

顧客の変化、それに伴う 流通業の進化

開催日	テ ー マ	講 師
12月6日 (月)	「集客型流通から顧客に近づく流通」	明治大学 専門職大学院 グローバル・ビジネス研究科長 ・教授 上原 征彦氏
	「食品スーパー ヤオコーの顧客対応につい て」	(株)ヤオコー 顧問 日本スーパーマーケット協会 専務理事 大塚 明氏
	「" エキシューマー " の消費行動について」	(株)ジェイアール東日本企画 駅消費研究センター長 加藤 肇氏
	「単品リピート型通信販売の顧客との関係づ くりについて」	ヘッドロックオフィス(株) 代表 杉井 伸二氏
会場：社団法人 日本マーケティング協会アカデミーホール 参加者：62名		

**JMA マーケティング 研究開発プロジェクトセミナー**

次世代 IMC(統合型マーケティングコミュニケーション) 講座

「美魔女ブランドとのコラボレーションを基軸とした新たな IMC の活用」

開催日	テ ー マ	講 師
12月10日 (金)	「次世代 IMC(統合型マーケティングコミュニ ケーション)設計手法」 ・4つのインサイトによる情報クリエイティ ブとは? ・IMC 最新事例の紹介 ・IMC プランニングの戦略設計プロセス ・最新 IMC 事例に見るデジタルとリアルの融 合	(株)インテグレート 代表取締役社長 藤田 康人氏
	「話題の美魔女ブーム に見る雑誌発のトレ ンドの仕掛け方」 ・国民的美魔女コンテストにおけるリアル× ウェブの統合型マーケティング ・雑誌の持つブランド力を生かした次世代型 ビジネスモデルとは?	(株)光文社 『STORY』 『美 STORY』 編集長 山本 由樹氏

次世代 IMC ケース 「ワコールのラブエイジングキャンペーン」 事例紹介	(株)ワコール 広報・宣伝部宣伝企画課課長 正垣 敏男氏
	(株)インテグレート アカウントプランニング部プランナー 松田 真紀氏 (株)博報堂 エンゲージメントプランニング局 インタラクティブプランニング一部 部長 二見 均氏
ディスカッション・Q&A 「次世代 IMC(統合型マーケティングコミュニケーション)の展望」	コーディネーター: (株)インテグレート 代表取締役社長 藤田 康人氏
会場：社団法人 日本マーケティング協会アカデミーホール 参加者：144名	

コミュニケーションの変化(進化)による次世代マーケティング展望 2011  
「ソーシャル時代の歩き方」

～ソーシャル・メディアを活用したコミュニケーション設計手法について～

開催日	テーマ	講師
2011年 1月28日 (金)	「本日のオリエンテーション(テーマ解説)」	(株)ドコモ・ドットコム ビジネス開発部 マネージャー 村上勇一郎氏
	「調査・統計データから読み解く、最新マーケット概況」	(株)ビデオリサーチ・インタラクティブ 営業企画部マネージャー 深田 航志氏
	「ソーシャルメディア時代の生活者消費行動モデル『SIPS』について」 ・ ソーシャルメディアの勘所 ・ AIDMA→AISAS→SIPS ・ SIPS 時代、メディアはまた復活する	(株)電通 コミュニケーション・デザインセンター プロデュース室シニア・クリエイティブ・ディレクター 佐藤 尚之氏
	「広告から、広場へ。」 メディアの変容/被リンク力/つまこまれクリエイティブ/愛されキャラ/ソーシャルプロセス/ストーリーはコミュニティを作る/オバマ、ガンダム、初音ミク/ブランデッド・ソーシャルメディアという可能性/ユーザーが一番偉い/広告はメディアの似姿になる/～新しい普遍～「広告から、広場へ。」	(株)博報堂 エンゲージメントビジネスユニット エンゲージメントクリエイティブ局 クリエイティブディレクター 須田 和博氏
	「トリプルメディア・マーケティング概論」 ・ 3つのメディアとマーケティングの時間軸の違い ・ 企業のマーケティングメディア戦略 ～フローからストックへ～ ・ ダッシュボード戦略とソーシャル・メディア戦略 ・ 人材育成と組織論	(株)ADK インタラクティブ 代表取締役社長 横山 隆治氏

	<p>パネル・ディスカッション 『企業は、どのようにソーシャル・メディアと向き合うべきなのか?』 ～お付き合いの方法と、その勘所(Tips)～</p>	<p>(株)電通 コミュニケーション・デザインセンター プロデュース室シニア・クリエイティブ・ディレクター 佐藤 尚之氏</p> <p>(株)博報堂 エンゲージメント ビジネス エグゼクティブ エンゲージメント クリエイティブ局 クリエイティブ ディレクター 須田 和博氏</p> <p>(株)ADK インタラクティブ 代表取締役社長 横山 隆治氏 コーディネーター: (株)トコモ・トットコム ビジネス開発部 マネージャー 村上勇一郎氏</p> <p>(株)ビデオリサーチ・インタラクティブ 営業企画部 マネージャー 深田 航志氏</p>
<p>会場：社団法人 日本マーケティング協会アカデミーホール 参加者：192名</p>		

マーケターのための戦略的パッケージデザインの活用～  
ブランド価値としてパッケージデザインを理解する～

開催日	テーマ	講師
<p>2011年 3月1日 (火)</p>	<p>「パッケージデザイン研究の進展とマーケティングにおける役割」 ・マーケティングにおけるパッケージデザインの役割 ・パッケージデザイン研究の現状と成果 ・内外のパッケージデザイン事例</p>	<p>早稲田大学 商学学術院長 教授 恩藏 直人氏</p>
	<p>「マーケターのためのパッケージデザインの戦略的活用と実践ノウハウ」 ・パッケージデザインの戦略的活用 ・パッケージデザインの定石と要素 ・リニューアルを考えるポイント</p>	<p>(株)アイ・コーポレーション 代表取締役社長 小川 亮氏</p>
	<p>「ネスレ日本のパッケージデザイン」 ・ネスレ日本のパッケージデザインの方針 ・ブランド戦略との関係 ・グローバル戦略とローカル市場対応</p>	<p>ネスレ日本(株) コミュニケーションズ&amp;コーポレートアフェアーズ本部 ビジュアル・コミュニケーション室 ダーレン サンダース氏</p>
	<p>パネルディスカッション 「ブランド価値としてのパッケージデザインの戦略的活用」</p>	<p>早稲田大学 商学学術院長 教授 恩藏 直人氏</p> <p>ネスレ日本(株) コミュニケーションズ&amp;コーポレートアフェアーズ本部 ビジュアル・コミュニケーション室 ダーレン サンダース氏</p> <p>(株)ミツカン MD 戦略本部 MD 企画部部長 新美 佳久氏</p> <p>(株)資生堂 宣伝制作部 コーポレートデザイン戦略室 クリエイティブディレクター 信藤 洋二氏</p> <p>司会： (株)アイ・コーポレーション 代表取締役社長 小川 亮氏</p>
<p>会場：社団法人 日本マーケティング協会アカデミーホール 参加者：101名</p>		

◆ アジア・グローバル市場関連セミナー

アジアからはじまるマーケティングの新しい潮流

～コトラーの「マーケティング 3.0」とこれからのグローバル・マーケティング経営～

開催日	テ ー マ	講 師
11月5日 (金)	ご挨拶	アジア・マーケティング連盟会長／ 日本マーケティング協会会長 後藤 卓也氏
	「韓国企業躍進の要因分析からグローバル・ マーケティング経営の道を探る」	ソウル大学国際大学院 教授 金 顕 哲氏
	「コトラーのマーケティング 3.0：ソーシャ ル・メディア時代の新法則」	マークプラス社 CEO ヘルマワン・カルタジャヤ氏
会場：社団法人 日本マーケティング協会アカデミーホール 参加者：62名		

※AMF 理事会のため来日、近著もある韓国の金教授とインドネシアのヘルマワン氏によるセミナー

◆ 新刊著者記念講演・総会特別講演

総会特別講演テーマ：「社長 島耕作 日本の未来を語る」

～有名漫画家の豊富な取材情報から日本の未来を語ってもらうセミナー～

開催日	テ ー マ	講 師
5月25日 (火)	「社長 島耕作 日本の未来を語る」	漫画家 弘兼 憲史氏
会場：アルカディア市ヶ谷(私学会館) 参加者：160名		

「ケラーの戦略的ブランド・マネジメント 2010」

ケラー氏の著書の新版刊行にあたり、ピラミッドモデルで低成長時代のブランド活性化を考える

開催日	テ ー マ	講 師
4月20日 (火)	「ケラーの戦略的ブランド・マネジメント 2010」 ・「顧客ベースのブランド・エクイティ」から 「ブランド構築ピラミッド」へ ・低成長期におけるブランド維持と再活性化 に向けての指針 ・最新のマーケティング手法を反映したブランド・マネジ メント事例、等	早稲田大学 商学学術院長 教授 恩藏 直人氏
	「ピラミッド・モデルに基づくブランドパワー 診断」 ・QBR によるブランド評価事例 ・低成長時代の強いブランドの構成要素	(株)東急エージェンシー クリエイティブソリューション本部 QPR 推進担当局長 水嶋 敦氏
	パネルディスカッション 「ブランド・マネジメント、商品開発のこれか ら」	パネリスト：早稲田大学 商学学術院長教授 恩藏 直人氏 サントリー食品(株) 常務取締役 食品事業部副事業部長 齋藤 和弘氏 (株)ロッテ 執行役員 商品開発部長 荒生 均氏 日産自動車(株) 商品企画本部 日本商品企画室長 岩佐 洋介氏 司会：(株)東急エージェンシー クリエイティブソリューション本部 QPR 推進担当局長 水嶋 敦氏
社団法人 日本マーケティング協会アカデミーホール 参加者：114名		

### 3. マーケティングに関する情報の収集及び提供

#### ◆ 出版活動、ウェブサイト運営

「マーケティング ジャーナル」(季刊・研究論文誌)

- ・ 編集委員長 池尾 恭一氏 慶應義塾大学大学院 教授
- ・ 本年度は117～120号を発行した。
- ・ 編集委員を筆頭に、著名学者の厳選なレビューを経て、推敲を重ね掲載された研究論文は、その内容の高さもさることながら、視点の新しさとあいまって、本誌の評価を高らしめた。

「マーケティング ホライズン」(月刊・情報誌)

- ・ 編集委員長 片平 秀貴氏 丸の内ブランドフォーラム 代表
- ・ 本年度はNo. 620～632号を発行した。
- ・ 表紙、本文構成のデザインを刷新し、読者視点の誌面づくりを目指した。
- ・ 新編集委員の元、読者のために新たな誌面構成とした。

ホームページの刷新

更新性、利便性、新規性を図るべく、TOP ページに新機能を付加させ、また会員ページを構築した。これにより協会会員が WEB 上でもサービスを楽しみ、協会とのリレーションをさらに深化できるように努めた。

### 4. マーケティングに関する内外関係機関との交流及び協力

#### ◆ アジア・マーケティング連盟

アジア地域のマーケティング 10 団体が加盟するアジア・マーケティング連盟(AMF)については、2010年6月のインドネシア・バリ島総会において、当協会後藤卓也会長が満場一致で AMF 会長に選出された。2012年度 AMF 総会までの2年にわたり、アジアのマーケティング界における日本のリーダーシップが期待されている。

AMF では、6月に総会をインドネシア・バリ島にて開催、同時期にインドネシア・マーケティング協会主催の国際会議を支援、石橋正明専務理事がパネリストとして講演した。11月には東京で AMF 理事会を開催、経済産業省から来賓を迎えたほか、花王ミュージアムの訪問、JMA 主催セミナーを開催した。

後藤会長のリーダーシップのもと、念願であった韓国より、韓国マーケティング・ソサエティの AMF 加盟が実現し、中国、インドに対して連盟加盟の働きかけを強めている。また新たに AMF フェロー制度を新設、米ノースウェスタン大学のフィリップ・コトラ教授の名誉フェローが決定するなど、組織の強化を進めている。

#### ◆ その他後援・協賛

後援

開催日	名称	主催団体
4月13～15日	第50回2010ジャパンマーケティングコンペティション	(社)日本印刷産業連合会
会場：如水会館		
7月13日	Net Marketing Forum Fall 2010	日経 BP 社
会場：品川プリンスホテル		
9月10日	第4回流通シンポジウム 次世代における流通業のあるべき姿	学校法人中内学園 流通科学大学
会場：流通科学大学 RYUKA ホール		
10月2日	関西大学ビジネスプランコンペティション	関西大学 商学部
会場：関西大学		

10月5日～8日	2010 日本パッケージングコンテスト	(社)日本包装技術協会
会場：東京ビックサイト		
11月28日	第21回シンポジウム ネット・レディーション企業の条件	現代経営学研究所 神戸大学 経営学研究所
会場：神戸大学 出光佐三記念 六甲台講堂		
12月1～2日	ショッパーマーケティング戦略セミナー	(財)流通経済研究所
会場：ホテルフロラシオン青山		
平成23年 1月12～14日	2011 第62回全国カレンダー展	(社)日本印刷産業連合会
会場：東京銀座画廊美術館 大阪マチャングイスマート		
平成23年 2月16～17日	JTA コンタクトセンター・セミナー2010	(社)日本テレマーケティング協会
会場：中央大学駿河台記念館		
平成23年 3月23日	マーケティングセミナー	九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会(九州経済産業省委託事業)
会場：ホテルオークラ福岡		

#### 協賛

開催日	名称	主催団体
9月14～17日	国際物流総展 2010	(社)日本ロジスティクスシステム協会
会場：東京ビックサイト		
9月14～17日	LOGIS-TECH TOKYO 2010	(社)日本能率協会 (社)日本産業機械工業会
会場：東京ビックサイト		
9月15～17日	第12回 自動認識総展	(社)日本自動認識システム協会
会場：東京国際展示場		
9月22～24日	2010・40th JPM Creative Design Show	(社)日本プロモーション・マーケティング協会
会場：東京都立産業貿易センター		
10月5～8日	2010 東京国際包装展(東京パック2010)	(社)日本包装技術協会
会場：東京ビックサイト		
10月19～20日	ロジスティクス全国大会 2010	(社)日本ロジスティクスシステム協会
会場：KFC ホール		

## 5. マーケティングに関する研究に対する助成

### ◆ 関東十ゼミ討論会支援

- 開催日 平成22年 12月4日(土) 学習院大学 目白キャンパス
- 参加者 大学ゼミナール 3年生 250名  
日本マーケティング協会理事およびマイスター6名がコメンテーターして参加。  
慶應義塾大学(小野ゼミ)、慶應義塾大学(里村ゼミ)、慶應義塾大学(清水ゼミ)  
駒澤大学(菅野ゼミ)、専修大学(奥瀬ゼミ)、高崎経済大学(佐々木ゼミ)  
多摩大学(豊田ゼミ)、中央大学(久保ゼミ)、法政大学(竹内ゼミ)  
立教大学(有馬ゼミ)、立教大学(高岡ゼミ)、早稲田大学(久保ゼミ)  
早稲田大学(守口ゼミ)、学習院大学(杉田ゼミ)、学習院大学(上田ゼミ)
- 審査の結果 早稲田大学 守口ゼミナール 「桑名班」が優勝した。テーマは「衝動購買時における心的葛藤を解消するための言い訳メカニズムの解明」

## 6. PR 活動やサービス事業

### ◆ 第2回日本マーケティング大賞

- ・ 2008年に創設された日本マーケティング大賞は2010年4月26日、実行委員会・運営委員会合同の最終選考会が開かれ、「大賞」「奨励賞」の選定、および各支部で選ばれた「地域賞」承認が行われた。その結果を4月27日の理事会で正式承認され、5月25日の表彰式で受賞企業のトップマネジメントの方々に賞状・トロフィーが授与された。
- ・ 2008年9月より賞のコンセプトを定め、諸規定を整え、募集・選考を行った。委員会組織は以下の通り

日本マーケティング大賞委員一覧（役職は2010年4月当時）

#### 実行委員会

実行委員長	後藤 卓也氏	JMA 会長(前花王(株) 顧問)
実行委員	嶋口 充輝氏	JMA 理事長(法政大学 大学院教授)
	俣木 盾夫氏	JMA 副会長((株)電通 相談役)
	石原 進氏	JMA 副会長(九州旅客鉄道(株) 代表取締役会長)
	菊池 育夫氏	JMA 副会長(北海道新聞社 代表取締役社長)
	丸山 功氏	JMA 理事・関西支部長((株)電通 顧問)
	石橋 正明	JMA 専務理事

#### 運営委員会

運営委員長	大月 昇氏	読売新聞社 取締役広告担当
運営副委員長	酒井 光雄氏	ブレイン ゲイト(株) 代表取締役 CEO
委員	恩藏 直人氏	早稲田大学 商学学術院教授 商学部学部長
	古川 一郎氏	一橋大学 大学院商学研究科教授
	余田 拓郎氏	慶應義塾大学 大学院経営管理研究科教授
	川上 智子氏	関西大学 商学部教授
	山田 眞二氏	サントリー酒類(株)スピリッツ事業部 RTD・リキュール部長
	恩地善之助氏	パナソニック(株) コーポレートブランド・ストラテジー本部 宣伝グループ 総務・渉外担当チームリーダー JMA 理事
	片桐 裕之氏	明治製菓(株) スイーツ事業推進部長
	穂苅 雄作氏	(株)電通 ストラテジック・プランニング局局長 JMA 理事
	田中 廣氏	(株)博報堂 執行役員 JMA 理事
	円谷 英夫氏	毎日新聞社 営業統括室局次長
	伊藤 隆範氏	読売新聞社 広告局総務
	竹中 雄三	日本マーケティング協会 研究開発局長

#### 運営事務局

運営事務局	石橋 正明	日本マーケティング協会 専務理事
	都丸 幸弘	日本マーケティング協会 事務局長
	竹中 雄三	日本マーケティング協会 研究開発局長
	細見 幸久	日本マーケティング協会 関西事務局長
	佐野 文宏	日本マーケティング協会 九州事務局長
	坂口 行男	日本マーケティング協会 北海道事務局長
	竹原 聖人	日本マーケティング協会 営業企画部長
	小島 弘雄	日本マーケティング協会 関西支部 業務推進部 主任

## 日本マーケティング大賞の設立趣旨

社団法人 日本マーケティング協会(会長 後藤卓也)は、先に創立 50 周年迎えたことにあたり、記念して優れたマーケティング活動を表彰する『日本マーケティング大賞』を新設した。厳しい経済環境の中でも、企業組織における新しいマーケティングやコミュニケーションの手法、もしくはビジネスモデルの開発を積極的に促すことで、社会や消費者の生活の向上と経済・社会の活性化に資する活動を奨励し、日本におけるマーケティングの престиージュを高めることを目的としている。

## 日本マーケティング大賞の応募要件と選考

対象活動： 新しく需要を喚起、または市場を再活性化させた、優れた商品もしくはサービス  
対象活動の具体例

- a 新たにマーケティングの概念を取り入れたプロジェクト
- b 社会との新たな共存・共生を目指したプロジェクト
- c 新しいコミュニケーション手法の開発
- d 市場の閉塞状況を打ち破った製品・サービス開発
- e 新しいビジネスモデルのプロジェクト
- f 規模の大小に拘らず、小さくてもキラリと光るマーケティング

対象範囲： 日本市場における企業・団体・組織の活動および日本法人の海外市場での活動(自治体、NPO(非営利組織)、大学、病院なども含む)

対象期間： 2009 年 1 月 1 日～12 月 31 日(継続活動については同期間を含むこと)

推薦資格： 日本マーケティング協会の法人会員・学会会員(自薦・他薦を含む)

募集期間： 2009 年 12 月 1 日(火)～2010 年 2 月 1 日(月)

推薦プロジェクト数 170 件

審査方法： 選考委員会による 2 段階審査方式を経て、4 月 26 日大賞ほか各賞を選定。

4 月 27 日、日本マーケティング協会理事会にて承認。

贈賞式： 5 月 25 日(火)の日本マーケティング協会の総会にて各賞贈呈(於：東京都千代田区アルカディア市ヶ谷)

主 催： (社)日本マーケティング協会

後 援： 経済産業省

## 各受賞プロジェクト

### ●日本マーケティング大賞 1 本

#### 『角ハイボールのヒット ウイスキー人気復活に向けて』サントリー酒類株式会社

受賞理由:成熟市場において新しい価値を提案することで市場の再活性化に成功。「飲み方の提案」から「料飲店とのタイアップ」までトータルなマーケティング活動の秀逸さに加え、ウイスキー全体の売上げ伸長に貢献しマーケティングの可能性を示した好例として高い評価を受けた。

低迷していたウイスキー市場において、新製品の投入や新市場の創造など従来のマーケティング手法に頼らずに、「飲み方の提案」を中心に総合的なマーケティング活動を展開して既存製品の売上げを伸ばした手法はマーケティングの可能性を示した好例であるとして高い評価を受けた。長期低迷を続ける市場や沈黙状態の市場におけるマーケティングのノウハウは少なく、当該プロジェクトの成功は、その意味からも大きく評価できるとの声があった。

クロスメディアを効果的に活用したプロモーション活動、ターゲットとなる若年層の飲酒状況の徹底的な研究、消費者の視点からの新しい飲み方の提案、料飲店とのタイアップによる新業態やレシピの開発、地道な店頭マーケティング活動などを通して、アルコール離れや景気低迷など逆風の環境のなかでも売上げを伸ばした同社のマーケティング活動はマーケティング大賞にふさわしいとのコメントが多数あった。

「角ハイボール」の活動を通じて、ウイスキーの「古臭い」「飲みにくい」「飲む場がない」といった課

題が一気に解決され、ウイスキー復活の起爆剤になった。

#### ●日本マーケティング大賞 奨励賞

##### 『多品種微量生産体制による顧客満足度の向上』東海パネ工業株式会社

受賞理由：ビジネス向け市場におけるロングテール・マーケティングの実践

同社は非常に種類の多い商品を顧客が欲しい時に1個からでも提供する多品種微量受注生産に特化し、ビジネス市場で「ロングテールのマーケティング」を成功させた。顧客情報のデータベース化やITによる受注生産管理システム、ウェブ上の注文システムと職人の技を活かしたモノづくりとの組合せが絶妙で、B to Bマーケティングの新しいモデルとして、その実績が高く評価された。他の企業では対応できない多品種微量生産体制は、顧客満足度の向上を可能にし、同社の顧客維持率は高水準を保つなど高い収益率を誇っている。

##### 『Honda「ピアンタ」による新たな耕うん機市場の創造』本田技研工業株式会社

受賞理由：新市場創造によるヒット商品の誕生

団塊世代を中心に家庭菜園市場が膨らむ中で、初心者でも簡単に使える家庭用耕うん機の市場を創造した。動力源に家庭用のカセットガスボンベを採用するなど、限られた市場の中でもきちんと市場調査を行い、市場創造から製品開発、プロモーション活動の展開など、卓越したマーケティング活動が高く評価された。農家向けの耕うん機メーカーが取り組んでいない家庭菜園市場に果敢に取り組み新市場の創造に成功したことで、視点を変えれば新たな市場を創造することができる好例であるという声があった。2009年3月の発売から1年間で販売台数1万台を突破するなど、家庭菜園初心者を中心に大ヒットとなっている。

##### 『途上国から世界に通用するブランドをつくる』株式会社マザーハウス

受賞理由：ソーシャル・マーケティングとグローバル・マーケティングの実践

「途上国から世界に通用するブランドをつくる」というビジョンをもって、バングラディッシュでジュート(黄麻)のバッグをつくり始めるところからスタートした同社は、規模は小さいながらも、社会との新たな共存を志向したそのマーケティング活動が高い評価を受けた。特に、社長自らが崇高な理念と情熱を持って、血と汗にまみれながら現場主義を実践している姿は、まさにマーケティングの原点であるとのコメントが寄せられている。(株)マザーハウスは発展途上国におけるアパレル製品及び雑貨の企画・生産・品質指導と、先進国における販売の目的で2006年3月に設立。

なお地域賞については、各支部の事業活動で記述する。

#### ◆ JMA メンバーズプログラム

- ・ 会員向けの無料セミナーとして『JMA メンバーズ・プログラム』と題して、新たなプログラムを作成し、会員サービスの充実をはかった。
- ・ 機関誌マーケティングホライズンの記事を中心としたセミナー「マーケティング・フォーラム」、会員企業を訪問してお話しを伺う「マーケティング企業見学会」、会員同士の交流をはかる「『笑うマーケティング』の楽しみ」、マーケティングの概要を速習的に学んで頂く「マーケティングビギナーズセミナー」の4つのプログラムからなる事業を企画し、実施した。
- ・ プログラムによっては定員以上の申し込みがある等、各プログラムとも好評であった。

・ マーケティング・フォーラム

開催日	テ ー マ	講 師	参加者
第 31 回 4 月 23 日 (金)	「“あきらめ”と戦うシニア・ガールズ」	(株)ウエーブプラネット 代表取締役 ツノダフミコ氏	82 名
	「不況時代でも買う、ミセスの 4 つの憧れ商品と買いたい理由を知るアプローチ」	リビング暮らし HOW 研究所 所長 植田奈保子氏	
	「トレンドのほんの小さな’ 変化の声’ を聞こう : picoVOICE のご紹介」	(株)フィンチジャパン 鈴木 右子氏	
第 32 回 6 月 28 日 (月)	「ロイヤルティ・ファネル」でコミュニケーション ROI を読み解く	縄文コミュニケーション(株) 代表取締役 福田 博氏	64 名
	マーケターのための伝統食品もの造り・もの語り	流通ジャーナリス 長谷川 智氏	
	「男性消費の 5 カ国比較調査結果」 ～日・中・米・英・伊 男性消費について～	(株)クロス・マーケティング 濱田 有希氏	
第 33 回 8 月 25 日 (水)	「隆盛するソーシャルメディアと企業の新たなコミュニケーション戦略」	グロービス経営大学院 准教授 川上慎市郎氏	120 名
	マーケティング変革期、Twitter, Facebook が一般化する米国最先端マーケティングの現場では何が起きているのか？	DMG EVENT JAPAN 武富 正人氏	
	Web セントリックマーケティング概論 ～ソーシャルメディア、自社メディア、マスメディアの活用～	ネットイヤーグループ 代表取締役社長兼 CEO 石黒不二代氏	
第 34 回 10 月 29 日 (金)	クチコミ発信力の強い主婦ってどんな人？	リビング暮らし HOW 研究所 植田奈保子氏	117 名
	新しい市場の手がかりになるか 大人ガールズ・シニアガールズ！	ウエーブプラネット ツノダ フミコ氏	
	キャラクターやクリエイター系コンテンツのトリプルメディアでの活用法！	ファンワークス 高山 晃氏	
第 35 回 2011 年 2 月 28 日 (月)	外資系企業にみるエスノグラフィーマーケティング	アイボリーマーケティング 福井 遥子氏	54 名
	ファストファッション激戦区銀座にみるユニバーサルな接客	アディアック 会田 裕美氏	
	日経のマーケティング情報でつかむ、ヒットの兆しと本物の見極め方	日本経済新聞デジタルメディア 久慈 未穂氏	

・ マーケティング企業見学会

開催日	テ ー マ	参加者
5 月 26 日(水)	「日本放送協会 - NHK - 」訪問	23 名
9 月 24 日(金)	「味の素(株) 川崎工場」訪問	27 名
11 月 19 日(金)	「(株)東芝－東芝科学館－」訪問	29 名

・ JMA 会員交流会『笑うマーケティング』の発想

開催日	講 師	参加者
7 月 15 日(木)	(社)日本マーケティング協会 研究開発局長 竹中 雄三	24 名
12 月 16 日(木)		31 名

- ・ マーケティングビギナーズセミナー

開催日	講 師	参加者
1月13日(木)	青山学院大学 経営学部 教授 芳賀 康浩氏	67名

#### ◆ JMA メンバーズ委員会

- ・ ACTION NEXT の提言から、会員相互に自由に意見交換を行える場を提供するための委員会組織「JMA メンバーズ委員会」の活動を2010年度より開始した。
- ・ メンバーズ委員会取り上げるテーマの選定を行う「テーマ審議会」を設立し、テーマの選定、進め方などの企画を行った。
- ・ テーマ審議会により「店頭マーケティング」「メディア」「シニアマーケット」の3つのテーマが選出され、委員(参加者)を公募し、各委員会を開催した。
- ・ 各委員会とも幹事の方を中心とした熱心な議論が行われ、各委員会の報告レポートを作成の予定である。

#### 「テーマ審議会」委員(2010年2月、氏名50音順)

委員長	三浦 俊彦氏	中央大学 商学部教授
副委員長	栗原 光宏氏	(株)東芝 営業企画室室長
委員	伊奈 孝芳氏	北海道テレビ放送(株) 取締役東京支社長
	香川 和彦氏	第一三共ヘルスケア(株) マーケティング部フィールドマーケティンググループ長
	楠見 宏氏	味の素(株) 食品カンパニー 営業企画部リテールサポートグループ 課長
	河野 万邦氏	マイクロソフト(株) セントラルマーケティング本部ビジネスマネージャ
	木幡 健一氏	(株)東急エージェンシー トータルマーケティングソリューション本部副本部長
	齋藤 和弘氏	サントリー食品(株) 常務取締役
	瀬谷 貴子氏	(株)電通 ストラテジック・プランニング局ブランド・ソリューション部部長
	高梨 寿氏	ニールセン・カンパニー マネージャ、コミュニケーションズ
	永田 弘道氏	(株)博報堂 マーケティングセンター グローバルマーケティング部部長
	松下 光司氏	中央大学大学院 戦略経営研究科准教授
	吉川 克也氏	(株)中日新聞社 東京本社広告局局次長
	吉本 哲氏	花王(株) コンシューマープロダクト事業推進部長

#### 「店頭マーケティング」委員会(委員15名)

幹事	松下 光司氏	中央大学大学院 戦略経営研究科准教授
	香川 和彦氏	第一三共ヘルスケア(株) 営業企画部情報グループ長
	楠見 宏氏	味の素(株)食品事業本部 営業企画部リテールサポートグループ 課長

#### 「メディア」委員会(委員12名)

幹事	田嶋 規雄氏	拓殖大学 商学部准教授
	田中 英夫氏	(株)アサヒ・ケイ 第1コミュニケーションプランニングユニットユニットリーダー補佐
	藤本 幸子氏	(株)テレビ朝日 コンテンツビジネス局ライツプロデュース部副部長
	高橋 路加氏	日本マイクロソフト(株) セントラルマーケティング本部カスタマーエンゲージメントグループシニアグループ マネージャ

#### 「シニアマーケット」委員会(委員11名)

幹事	菅野 沙織氏	駒澤大学 経営学部准教授
	高橋 昌治氏	東宝(株) 専務取締役
	西村 泉氏	(株)大広 R&D 局第1グループ 部長

◆ JMA サロン (6 回開催)

- ・ 部会長 稲木 甲二氏 (株)フジテレビジョン 取締役
- ・ 会員トップ交流の場となっている JMA サロンは 28 年目に入り、多彩な講師陣を交えてのコミュニケーションが活発におこなわれた。

平成 22 年度 JMA サロン

開催日	テーマ	講師	参加者
第 167 回 5 月 28 日 (金)	「世界経済の中の日本経済」	同志社大学大学院教授 浜 矩子氏	27 名
第 168 回 7 月 20 日 (火)	「緊迫する朝鮮半島情勢」	産経新聞社 編集委員 久保田るり子氏	25 名
第 169 回 9 月 14 日 (火)	「人類文明の黎明と暮れ方」	国立西洋美術館館長 青柳 正規氏	26 名
第 170 回 11 月 16 日 (火)	「日本の政治は良くなるか」	時事通信社 解説委員 田崎 史郎氏	27 名
第 171 回 2 月 23 日 (水)	「2011 年景気の行方」	三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券 チーフエコノミスト 佐治 信行氏	25 名
第 172 回 3 月 31 日 (水)	「西欧とアラブの共通文化基盤」	リビア国駐箚特命全権大使 西ヶ廣 渉氏	24 名
会場：ホテルオークラ			

◆ 月例会 (6 回開催)

- ・ マーケティング月例会では、話題の企業の幹部、学界の代表から今後の企業経営やマーケティング活動に役立つ有意義な事例や新しい理論をご紹介いただいた。

平成 22 年度 JMA 月例会

開催日	テーマ	講師	参加者
5 月度 5 月 11 日 (火)	「選ぶ側からの視点でみたプレゼンテーションの論理」	日産自動車(株) コミュニケーション・プロフェッショナル開発部長 野口 恭平氏	61 名
6 月度 6 月 25 日 (金)	「トレンド 2010 年 不況に負けない “晩嬢” の欲望を解剖する」	女の欲望ラボ 代表 山本 貴代氏	54 名
7 月度 7 月 15 日 (木)	「テレビじゃないフジテレビ！」	(株)フジテレビジョン 取締役 映画事業局長 亀山 千広氏	62 名
10 月度 10 月 25 日 (月)	「クリエイティブ最前線」	(株)電通 コミュニケーション・デザイン・センター エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター 澤本 嘉光氏	68 名
11 月度 11 月 30 日 (火)	「脳と消費・ブランド・マーケティング」	脳科学者 (株)ソニーコンピュータサイエンス研究所 シニアリサーチャー 茂木健一郎氏	81 名
1 月度 1 月 21 日 (金)	「クラウド時代と進化する<クール革命>」	(株)角川グループホールディングス 取締役会長 角川 歴彦氏	168 名
会場：社団法人 日本マーケティング協会アカデミーホール 1/21 アルカディア市ヶ谷(私学会館)			

### III. 平成 22 年度新入会員

#### 法人会員新入会

4 月	コニカミルタビシステクノロジーズ(株)	本部	12 月	(株)リコー	本部
	(株)静岡朝日テレビ	本部	1 月	テュフ ラインラント ジャパン(株)	本部
	WPP マーケティング・コミュニケーションズ(株)	本部		(株)I-PRO	北海道
	(株)FISEMAN	本部		(株)プレミネンテ	本部
	(株)電通ワンダーマン	本部	2 月	ビルコム(株)	本部
	ムジ・ネット(株)	本部		エス・マックス(株)	本部
	コムテック(株)	本部		(株)モリック	本部
5 月	ピッパツィオグループ ジャパン(株)	本部		ソフトバンクモバイル(株)	本部
	グーグル(株)	本部		トビテック・テクノロジー・ジャパン(株)	本部
	KDD I (株)	本部		(株)サイバー・コミュニケーションズ	本部
6 月	(株)ナカニシ	本部		(株)電通レゾナンス	本部
	シノベイト(株)	本部	3 月	(株)伊勢丹	本部
7 月	(株)ファンワークス	本部		(株)エルテス	本部
	東海バネ工業(株)	関西		(株)ミクシイ	本部
	(株)イノベンチャー	本部			
8 月	アクサ生命保険(株)	本部			
	(株)もしもしホットライン	本部			
9 月	(株)アイ・コーポレーション	本部			
	(株)電通コンサルティング	本部			
	(株)ミツエーリンクス	本部			
10 月	旭硝子(株)	本部			
11 月	エイクリエンション	本部		東京本部扱い	38 社
	クリナップ(株)	本部		関西支部扱い	1 社
	(株)インテグレート	本部		北海道支部扱い	1 社
	(株)エム・データ	本部		合計	40 社
	クラシエホールディングス(株)	本部			

#### 学会会員新入会

(敬称略)

合計 8 名

4 月入会

小樽商科大学 大学院商学研究科現代商学専攻教授 Carolus Praet

7 月入会

関西大学 総合情報学部准教授 徳山美津恵

8 月

宇都宮共和大学 シティライフ学部・准教授 奥貫 泰正

9 月

東京工業大学 大学院社会理工学研究科准教授・博士号 鍾 淑玲

10 月

専修大学 商学部准教授 奥瀬 喜之

1 月

相模女子大学 人間社会学部・准教授 金森 剛

2 月

立正大学 経営学部講師 浦野 寛子

同志社大学 商学部教授 崔 容熏

## IV. 関西支部事業報告

### 概況

2010年度の関西地区の景気回復の足取りは遅かったものの関西支部の多くの事業は前年の参加者を上回ることができた。年度末(2011年3月11日)に東北関東大震災が発生したが、関西支部事業はほとんど終了しており、大きな影響は受けなかった。

各事業計画の中で、基幹のマーケティング・マスターコース関西やベーシックコース、レディースセミナーは計画や前年を上回る参加を得、ブランド研究会、シンポジウムも計画値には達しなかったが、盛況裡に開催できた。JMA関西例会も予定していた5回を開催し、季刊紙『マーケティング・ビュー』も例年通り年4回発行した。

会員サービスの一環としてのメンバーズセミナーを今年から(本年度は1回)開催することができた。第3回マーケティング大賞地域賞(関西)は、小委員会(2月25日)にてエントリー・プロジェクト全207件中関西関係21件より3件を絞り込み、関西支部業務推進部会(3月24日)にて最終選考し、「平城遷都1300年祭」を推薦すると決定した。

なお、2010年6月末に、丸山功電通顧問から田井中邦彦電通顧問に関西支部長が交代した。また、1973年より34年間JMA会長をつとめられた鳥井道夫サントリー名誉会長が2011年2月6日逝去された。葬儀が大阪・千里会館で行われた。

### 各部会活動

#### 「研究部会」

第10期を迎えた「マーケティング・マスターコース関西」(6月～2011年2月)の参加者は定員の20名となり充実した内容で運営することができた。新マイスターとして、上高雄樹氏(山村硝子)、大藪範子氏(ワコール)、荻野義明氏(サントリーピア&スピリッツ)、月野由春氏(月桂冠)、徳光郁夫氏(JR西日本コミュニケーションズ)、中島賢氏(大阪ガス)、西松重人氏(阪急電鉄)、藤下進一氏(阪急阪神百貨店)を新たに迎えることができた。マイスター代表の島森清孝氏(江崎グリコ)は5期目を迎え、任期を全うしていただいた。これまでのご指導、ご協力に感謝し、この場を借りて御礼申し上げる。

第2回目となる「(マスターコース)合同総会」は会場を大阪中央電気倶楽部に移し、2010年11月12日に卒業生・マイスター(経験者)等47名の参加で開催し、縦横のネットワーク形成に再び貢献した。

「ベーシック・コース」(7月～9月、全9回)は前年を上回る41名の参加で、熱心な研修を実施した。西川英彦立命館大学教授が法政大学へ転出され、指導層に吉田満梨立命館大学准教授を新たに就けて運営された。実務界のゲストスピーカーからの事例紹介も行き、本年も盛況に開催された。

「ブランド研究会」(7月～9月、全6回)は、本年は13名の参加によるまとまりのある会となった。コーディネーターに流通科学学大石井淳蔵学長、サブコーディネーターに大阪市立大学小林哲准教授、マンダム亀田泰明執行役員を迎え、運営した。その中1回は、「キッザニアのビジネスモデルについて」と題して見学会(キッザニア甲子園)も開催し、研究を深める一端とした。

#### 2010 関西ベーシック・コース

開催日	テ ー マ	講 師
7月16日 (金)	① <マーケティングの構図> ・メーカーに求められるもの	流通科学大学 学長 石井 淳蔵氏
	<マーケティングの概念> ・1からのマーケティング ・STP・4P	流通化学大学商学部 准教授 清水 信年氏

	業 事 例	<企画書作成のワークショップ>	流通化学大学商学部 准教授 清水 信年氏 流通科学大学 商学部 講師 横山 斉理氏 立命館大学 経営学部 准教授 吉田 満梨氏
7月23日 (金)		<製品開発> ・新製品戦略・コンセプト開発 ・製品ライフサイクル <マーケティングリサーチ> ・分析手法・データ収集	関西大学 商学部 教授 川上 智子氏
		<事例紹介> <ディスカッション>	(株)ミツカン MD 戦略本部製品企画部 製品企画7課課長 神林 弘幸氏
7月30日 (金)		<企画書作成のワークショップ> <企画書作成の事例紹介>	流通化学大学商学部 准教授 清水 信年氏 流通科学大学 商学部 講師 横山 斉理氏 立命館大学 経営学部 准教授 吉田 満梨氏
		企画書作成の事例紹介 <ディスカッション>	フジッコ(株) 商品開発室 商品開発第1課第一グループ 係長 田口 敬子氏
8月6日(金)		<流通戦略> ・流通機構・チャネル・物流 <消費者行動> ・顧客満足・消費者行動分析 <事例紹介> <ディスカッション>	大阪市立大学大学院 経営学研究科 准教授 小林 哲氏 神戸大学大学院 経営学研究科 准教授 栗木 契氏 (株)イーライフ シニアコンサルタント 三橋麻梨子氏
8月20日 (金)		<企画書作成のワークショップ>	流通化学大学商学部 准教授 清水 信年氏 流通科学大学 商学部 講師 横山 斉理氏 立命館大学 経営学部 准教授 吉田 満梨氏
8月27日 (金)		<広告戦略> ・広告戦略・CF表現戦略 <価格戦略> ・価格弾力性・消費者行動分析 ・補完的価格 <事例紹介> <ディスカッション>	神戸大学大学院 経営学研究科 准教授 栗木 契氏 大阪市立大学大学院 経営学研究科 准教授 小林 哲氏 (株)ロッテ 宣伝部 制作担当 第一グループ 課長 山本 剛史氏
9月3日(金)	② 実 践 編	<事前プレゼンテーション> <グループ指導>	流通化学大学商学部 准教授 清水 信年氏 流通科学大学 商学部 講師 横山 斉理氏 立命館大学 経営学部 准教授 吉田 満梨氏
9月7日(火)	発 表	自主グループワーク	

9月17日 (金)	<グループ発表>	流通科学大学 学長 石井 淳蔵氏
	<講評とまとめ>	流通化学大学商学部 准教授 清水 信年氏 流通科学大学 商学部 講師 横山 斉理氏 立命館大学 経営学部 准教授 吉田 満梨氏
会場：NCB スカイルーム 参加者： 41名		

2010年 ブランド・マーケティング研究会

開催日	テーマ	講師
第1回 7月1日(木)	「ブランド・マネジメントを学ぶ」	流通科学大学 学長 石井 淳蔵氏
第2回 7月15日(木)	「iPhone や Twitter を活用したマーケティング手法と各種最新事例」	ソフトバンクモバイル(株) マーケティング本部事業推進統括部 シニアエンジニアリスト 中山五輪男氏
第3回 7月29日(木)	「花王のブランドマネジメント」 ①新ブランド導入 ②ブランドを支える社内システム ③環境対応のブランド開発	花王(株) マーケティング開発室 室長 奥澤 勇氏
第4回 8月19日(木)	「角瓶のブランド・マネジメントとウイスキーカテゴリーの再活性化」	サントリー酒類(株) 宣伝部長 和田 龍夫氏
第5回 9月2日(木)	「キッサニアのビジネスモデルについて(講演+見学)」	(株)キッサン ジャパン マーケティング本部 本部長 関口 陽介氏
第6回 9月16日(木)	「トップナノックスの戦略」	ライオン(株) ファブリックケア事業部 ブランドマネージャー 山崎 久生氏
コーディネーター：流通科学大学 学長 石井 淳蔵氏 サブ・コーディネーター：大阪市立大学大学院経営学研究科 准教授 小林 哲氏 (株)マンダム 執行役員第一商品開発部部长 亀田 泰明氏		
会場：社団法人 日本マーケティング協会 関西支部会議室 参加者：13名		

マーケティング・マスターコース

- ・ 実施時期 平成22年6月15日～23年3月11日
- ・ 参加者 20名

第10期マイスター

(平成23年3月・氏名50音順)

【マイスター代表】

島森 清孝氏 江崎グリコ(株) 執行役員マーケティング部部长 ブランドグループ長

【マイスター】

青木 透氏 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 経営戦略部 部長

石辺 秀規氏 カルビー(株) 執行役員 営業本部 本部長

上高 雄樹氏 日本山村硝子(株) 取締役 プラスチックカンパニー社長

内田 広氏 ミズノ(株) ウェルネス・スポーツパレール事業部スィム&フィットネスマーケティング部 部長

梅本 春夫氏 (株)大広 マーケティング・コミュニケーション・ラボ 所長

大島 幸男氏 (株)村田製作所 広報部 部長

大藪 範子氏 (株)ワコール 広報・宣伝部WEB部・CRM企画課 課長

岡 真理氏	朝日新聞大阪本社(平成22年11月退職)
岡田 和喜氏	(株)マンダム 常務執行役員 R&D統括
荻洲 貞明氏	(株)博報堂 関西支社 プラニング局 シニアストラテジックプランニングディレクター
荻野 義明氏	サントリービア&スピリッツ(株) 常務取締役 近畿営業本部長
片岡 聡司氏	サントリービア&スピリッツ(株) 近畿営業本部 営業企画部長
金澤 伸明氏	塩野義製薬(株) マーケティング部 次長
亀田 泰明氏	(株)マンダム 執行役員 第一商品開発部長
小嶋 幸次氏	サントリーホールディングス(株) 常務執行役員 品質戦略部長
齊藤 裕子氏	凸版印刷(株) 関西 TIC 本部プロモーション部 消費行動研究室 課長
佐本 昌久氏	関西電力(株) 京都支店 お客さま室長
清水 正博氏	(株)イズミヤ総研 代表取締役社長
清水 恭彦氏	江崎グリコ(株) 海外事業推進部 参事
白川貴久子氏	(株)NTTドコモ 情報システム部情報戦略担当 担当部長
杉本 宏治氏	月桂冠(株) 営業統括部企画宣伝課 主査
関口 聡氏	(株)アサツーディ・ケイ 第1インタラクティブビジネスデザイン局 プランニングディレクター
立田 真氏	(株)市場調査社大阪 代表取締役社長
月野 由春氏	宝酒造(株) 酒類事業本部副本部長 商品部長
寺坂 博一氏	サントリーフーズ(株) 近畿支社 企画部長
徳光 郁夫氏	(株)ジェイアール西日本コミュニケーションズ コミュニティメディア本部 企画部長
富澤 尚也氏	京セラ(株) 広報室宣伝部海外宣伝課 責任者
中島 賢氏	大阪ガス(株) 常務執行役員 京滋地区総支配人
中畑 恵一氏	パナソニック電工(株) 宣伝部 部長
西川 昌憲氏	(株)博報堂 関西支社 プラニング局 マーケティング二部 部長
西松 重人氏	阪急電鉄(株) 経営企画部 部長
服部 良弘氏	(株)電通 関西支社 ビジネス・デベロップメント・センター 専任局長
藤川 裕司氏	東洋ゴム工業(株) 企画本部ブランド管理室 室長
藤下 進一氏	(株)阪急阪神百貨店 マーケティング室 部長
桃田 雅好氏	(株)マンダム 取締役専務執行役員
森岡 慎司氏	(株)電通 関西支社 統合ソリューション局 局次長
山内 芳樹氏	OS(株) 代表取締役社長
山崎 広直氏	大日本除虫菊(株) 執行役員宣伝部 部長

【アカデミック アドバイザー】

石井 淳蔵氏	流通科学大学 学長
石井 康夫氏	大阪国際大学 ビジネス学部 教授
石橋 陽氏	京都産業大学大学院 マネジメント研究科 教授
井上 哲浩氏	慶應義塾大学大学院経営管理研究科 教授
川上 智子氏	関西大学 商学部 教授
栗木 契氏	神戸大学大学院 経営学研究科 准教授
小林 哲氏	大阪市立大学大学院 経営学研究科 准教授
清水 信年氏	流通科学大学 商学部 准教授
清水 憲彦氏	流通科学大学 サービス産業学部 教授
廣田 章光氏	近畿大学 経営学部 教授
若林 靖永氏	京都大学経営管理大学院 教授

- ・ コース構成 4クォーター制 全22科目 計126セッション・毎週水曜日
- ・ 第1クォーター（平成22年6月日～7月21日）
  - 6/16 ①マーケティングの歴史・体系・役割
  - 6/23 ②コーポレート・コミュニケーション③経営とマーケティング
  - 6/30 ③品とブランド戦略
  - 7/9～7/10 ④品とブランド戦略 合宿
  - 7/14 ②コーポレート・コミュニケーション③経営とマーケティング
  - 7/21 ⑤プランニング&プレゼンテーション
- ・ 第2クォーター（平成22年7月28日～8月25日）
  - 7/28 ⑤通との接点課題⑦コンセプトメイク
  - 8/4 ⑥通との接点課題⑧BtoBビジネス
  - 8/18 ⑨価格戦略
  - 8/25 ⑩マーケティングリサーチ⑦コンセプトメイク
- ・ 第3クォーター（平成22年9月1日～11月4日）
  - 9/1 ⑩マーケティングリサーチ⑪競争戦略⑫実践的事業創造(演習)
  - 9/8 ⑪競争戦略⑫実践的事業創造(演習)
  - 9/15 ⑪競争戦略⑬リレーションシップマーケティング⑫実践的事業創造(演習)
  - 9/22 ⑬リレーションシップマーケティング⑫実践的事業創造(演習)
  - 9/29 ⑭商品政策⑮マーケティングトレンド⑫実践的事業創造(演習)
  - 10/6 論文指導
  - 10/13 ⑬リレーションシップマーケティング⑮マーケティングトレンド⑭商品政策
  - 10/20 ⑯営業政策⑰コンシューマーインサイト
  - 10/27 ⑱マーケティング法務⑯営業政策
  - 11/4 ⑲アドバタイジング&セールスプロモーション⑰コンシューマーインサイト
- ・ 第4クォーター（平成22年11月10日～2月16日）
  - 11/10 ⑳生産研究政策⑮マーケティングトレンド
  - 11/17 中間論文
  - 11/24 ⑲アドバタイジング&セールスプロモーション
  - 12/1 ⑲アドバタイジング&セールスプロモーション
  - 12/8 工場見学
  - 1/12 ⑮マーケティングトレンド㉑グローバルマーケティング
  - 1/19 ㉒関西商い学とマーケティングナレッジ
  - 1/26 ㉓マーケティング財務
  - 2/2 ㉒関西商い学とマーケティングナレッジ㉑グローバルマーケティング
  - 2/16 論文発表会

## 「月例会部会」

JMA 関西例会は、本年度は予定していた5回を開催できた。5回中4回は30名以上の参加となった。四國部会長(電通)の下各部会委員の熱心な協力により、マーケティング周辺領域の旬なテーマを設定し、盛り上がる会を運営できた。

関西支部としては初めて「メンバーズ・セミナー」(無料セミナー)を開催し、会員サービスの一環として取り組んだ。サントリーミュージアム[天保山]の協力で、ポスターコレクションを観覧できたとともに、「東アジアの観光動向とマーケティングについて」と題し狭間恵三子氏(大阪観光コンベンション協会)による有益な講演を聞くことができた。

**JMA 関西例会**

開催日	テ ー マ	講 師
8月30日(月)	「サンスターにおける通販事業の取り組みについて」	サンスター(株) プロフェッショナル営業部 ダイレクトグループ 部長 吉見 普氏
会場：NCB スカイルーム 参加者：46名		
9月27日(月)	「資生堂における中国市場のマーケティング戦略」	(株)資生堂 中国事業部 マーケティング 開発部次長 太田 正人氏
会場：NCB スカイルーム 参加者：34名		
10月22日(金)	「メディアの行方」	上智大学 文学部新聞学科 教授 音 好宏氏
会場：NCB スカイルーム 参加者：15名		
2月3日(木)	「異業種競争戦略」	早稲田大学ビジネススクール 教授 内田 和成氏
会場：NCB スカイルーム 参加者：56名		
3月9日(水)	「ソーシャル・マーケティング (Twitter・FaceBook)」	(株)トリドール 社長付き広報 ・業務推進担当 末広 栄二氏
会場：NCB スカイルーム 参加者：52名		

**「フォーラム部会」**

「レディース・マーケティングセミナー」は7月5日に前年を上回る35名の参加を得て開催された。コーディネーターの金山博氏(マンダム執行役員)、夏山明美氏(博報堂生活総研上席研究員)とともに、本年のテーマ「私の仕事術～ヒットを生み出す女性の視点を学ぶ～」についてゲストスピーカーを交えて論議を深めることができた。

「第16回 JMA 関西マーケティング・シンポジウム」はフォーラム部会会議を春に開催し、早くからの準備を行った。その結果、大阪キタ地区・梅田地区のまちの変化をブランドづくりの観点で論議することとなり、12月2日(木)に開催された。

**'10 マーケティング・シンポジウム**

開催日	テ ー マ	講 師
12月2日(木)	基調講演① 「21世紀 都市は選択される」	三菱地所(株) 代表取締役 専務執行役員 長島 俊夫氏
	基調講演② 「阪急阪神グループのまちづくり」	阪急阪神ホールディングス(株) 代表取締役社長 角 和夫氏
	パネルディスカッション	司会：石井 淳蔵氏 パネリスト：長島 俊夫氏 角 和夫氏 大阪市立大学 准教授 小林 哲氏
会場：オーバルホール 毎日新聞大阪本社 参加者：180名		

**第15回レディース・マーケティング・セミナー  
「私の仕事術」～ヒットを生み出す女性の視点を学ぶ～**

開催日	テ ー マ	講 師
7月5日(月)	「ブランド担当としての喜び(だから、この仕事が好き!)」	(株)資生堂 マス・マスタージブランドユニット ブランドマネジャー ズナイデン房子氏

	「顧客との継続的關係構築視点によるコミュニケーション活動」 ～Web 活用による生活者とのエンゲージメントについて～	(株)ワコール 広報・宣伝部 WEB・CRM 企画課課長 大藪 範子氏
コーディネーター：(株)マンダム 執行役員第二商品開発部部長 金山 博氏 (株)博報堂 生活総合研究所 上席研究員 夏山 明美氏		
会場：リーガロイヤルNCB「桂の間」 参加者：37名		

## 「編集部会」

本年度も『マーケティング・ビュー』を4回発行し、関西からのマーケティングおよび周辺情報の発信を行った。編集部会長は、博報堂大橋隆常務執行役員が転任となり、後任の博報堂坂上和典執行役員および、他の各委員の多大な協力の下発行できた。

## 「JMA Marketing View」発行

	発行月	事項
春号	23年4月	全国の会員社・者に10,000部を配布
夏号	7月	全国の会員社・者に10,000部を配布
秋号	10月	全国の会員社・者に10,000部を配布
新年号	24年1月	全国の会員社・者に10,000部を配布

## 第2回日本マーケティング大賞 「地域賞」

第2回マーケティング大賞(関西)地域賞の選考は二段階のプロセスを経て決定した。

[1次選考]2010年2月24日に「小委員会」を開催し、関西関係プロジェクト23件中5件に絞込みを行った。

[最終選考]2010年3月25日の「業務推進部会」において(関西)地域賞の最終選考を行い「500色の色えんぴつの販売促進活動」(フェリシモ)に決定した。

## 小委員会 委員

部会長	桃田 雅好氏	マンダム取締役常務執行役員
	島森 清孝氏	江崎グリコ執行役員マーケティング部部長
	城戸 秀雄氏	サントリー宣伝事業部宣伝部部長
	四國 光氏	電通関西支社ビジネスサポートセンター エグゼクティブプロジェクトマネージャー
	荻須 貞明氏	博報堂関西支社プランニング局 シニアストラテジックプランニングディレクター
	永井 有子氏	大広大阪本社ソリューション開発局局長
	田村 敦氏	読売新聞大阪本社広告局管理部部長

## 業務推進部会 委員

関西支部長	丸山 功氏	(株)電通 顧問
業務推進部会 部会長	荻野 義明氏	サントリーヒア&スピリッツ(株) 常務取締役近畿営業本部長
委員	島森 清孝氏	江崎グリコ(株) 執行役員マーケティング部部長
委員	坂上 和典氏	(株)博報堂 執行役員 関西支社長
委員	城戸 秀雄氏	サントリービジネスエキスパート(株) 宣伝部専任部長
委員	園崎 明夫氏	毎日新聞 執行役員大阪本社副代表 大阪本社広告・事業本部長兼広告局長
委員	仲 貢氏	(株)大広 執行役員
委員	戸成富美子氏	(株)市場戦略研究所 代表取締役
委員	石井 淳蔵氏	流通科学大学 学長
委員	桃田 雅好氏	(株)マンダム 取締役常務執行役員

委員 魚谷 明氏 朝日新聞大阪本社 広告局長  
委員 四國 光氏 ㈱電通 関西支社 ビジネス・デベロップメント・センターエグゼクティブ・プロジェクト・マネージャー

『500 色の色えんぴつの販売促進』株式会社フェリシモ

2009年に復刻販売をした「500 色の色えんぴつ」は、毎月 25 本ずつ、20 ヶ月かけて 500 本をそろえる「集めるよろこび、完成するよろこび」を体感させるユニークな販売方法が消費者のこころをつかんでいる。ひとつひとつの色にはユニークな名前がついていて、大人にもイマジネーションを掻き立てられると好評で、従来の文具や画材というジャンルを超えた商品となった。既存のメディアへの露出だけでなく、Web 上に専用の仮想コミュニティをつくりながら顧客との関係強化を目指したり、ブログや SNS で専門サイトが立ち上げるなど、デジタル・メディアを効果的に活用しながら新規の顧客の開拓にも成功。去年一年間の受注件数は 5 万 2000 件にのぼった。

株式会社フェリシモは兵庫県神戸市に本社を置く通信販売会社。

## IV. 九州支部事業報告

### 概況

- 九州経済は、エコポイントやエコカー減税などの影響を受け、消費関連指標は 2010 上期より上昇し、下期には、前年プラスに転じ、観光入り込み客数もほぼ、リーマンショック以前に回復した。  
このような景気回復機運の中、講演会・セミナーの参加者も増加傾向が見られ、特にサントリー酒類(株) 宣伝部長和田龍夫氏による第 2 回マーケティング大賞受賞の「角ハイボールのクロスメディア戦略」の講演には 105 名の参加があり近年の参加者数では最高の記録となった。
- また、ICT(インフオーメーション・コミュニケーション・テクノロジー)手法の変化をテーマとした「インテグレートマーケティングコミュニケーション 2010」(2 回 3 講座)やマーケティングアカデミーベーシックコース(全 12 講座)では、IT 関連会社や、大型専門店の方など、会員社以外の企業からの参加が増えてきた。
- 昨年に引き続き、玉名市の「玉名ブランド認定」事業の審査員を派遣した。
- (財)九州地域産業活性化センター、九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会、九州産業経済局主催の「マーケティングセミナー」を後援した。
- 情報季刊誌「九州マーケティングアイズ」53 号(春)54 号(夏)55 号(秋)56 号(冬)を編集発行した。

### 九州支部平成 22 年度事業実施状況

#### アカデミー

##### 「マーケティングアカデミー2010 ベーシックコース」

世界で唯一デフレ経済の日本・需給ギャップを解消するためには、マーケティング活動の活発化が必要である。マーケティングを体系的に学びたい人を対象に、マーケティングの基本概念を理解し、これを実践の場で、有効に活用することを目的とし、これまでのマーケティング理論と実際のマーケティング事例を理解し、さらに今日の問題・課題の検討を加えることにより、皆様のマーケティング実践の基礎を築いていこうとするもの。

マーケティングに関わる会社に入社された新入社員の方、新しくマーケティング部門に配属された方、あるいはこれまで実践的にマーケティングをやってきてマーケティングをもう少し体系的に整理したいと思っておられる方を対象に開講した。

開催日	テ ー マ	講 師
9月1日(水)	Sec1「マーケティングの概念と発想」	中村学園大学 教授 片山 富弘氏
	Sec2「マーケティングの全体体系」	
	Sec3「マーケティング戦略」	
9月2日(木)	Sec4「マーケティング・リサーチを体感する」	(株)プリミティブ・ドライブ 代表取締役 徳永眞木子氏
	Sec5「マーチャンダイジング戦略」	マーケティングプランナー 眞鼻 守正氏
9月3日(金)	Sec6「プロモーション戦略デザイン」	マーケティングプランナー 眞鼻 守正氏
	Sec7「ブランド戦略」	(株)博報堂九州支社 マーケティング部長 村井 講介氏
9月8日(水)	Sec8「ダイレクトマーケティングとは」	(株)大広九州 ダイレクトマーケティング 開発部部長 明治 一臣氏

	Sec9「ダイレクトマーケティングの実際」～ダイレクトメールのクリエイティブ～	凸版印刷(株) トップアイデアセンター 西日本クリエイティブチームリーダー 城島 康治氏
9月9日(木)	Sec10「サービスマーケティングとは 百貨店の顧客政策」	(株)岩田屋 経営企画部 経営管理・CC 担当長 藤田 宜子氏
	Sec11「WEB2.0時代のネットビジネスの方向性」	大阪国際大学 教授 宮崎 哲也氏
9月10日 (金)	Sec12「コミュニケーション・プランニング」	(株)電通九州 プランニング 1 部長 小野 和美氏  (株)電通九州 コミュニケーションプランナー 和久田昌裕氏
	Sec13「ブランドをつくるクリエイティブ」	(株)電通九州 CD 局長 シニアクリエイティブディレクター 植原 政信氏
	Sec14「マーケティング知識を実際のビジネスに活かす」	福岡大学 教授 田村 馨氏
会場：電通福岡ビル 11 階ホール 参加者 27 名		

### 「春季マーケティング講演会」

数多くの商品分野でトップシェアを誇り、4年連続で、「世界で最も倫理的企業」に選ばれている花王株式会社の企業姿勢、事業原点について、社長在任中に「ヘルシア緑茶」、ヘアケアブランド「アジェンス」などヒット商品を次々送り出し、部署や役職の垣根を越え、オープンに議論できる企業風土を根づかせ、執行役員制度の導入などガバナンス体制も整えた花王前会長であり、日本マーケティング協会会長後藤卓也氏に講演戴いた。

開催日	テーマ	講師
5月17日(月)	「花王の企業姿勢とよきモノづくり」	(社)日本マーケティング協会 会長 花王(株)前会長 後藤 卓也氏
会場：電通福岡ビル 11 階ホール 参加者：75 名		

### 「秋季マーケティング講演会」

新製品の投入や新市場の創出でなく、飲み方の提案によって既存の製品の売上を伸ばした手法が評価され、本年、サントリー酒類(株)『角ハイボールのヒット ウイスキー人気復活に向けて』が第2回日本マーケティング大賞を受賞した。サントリー酒類製品全ての広告の責任者である和田龍夫氏に角ハイボールの成功の舞台裏やクロスメディア戦略についてお話し戴いた。

開催日	テーマ	講師
11月16日(火)	「角ハイボールのクロスメディア戦略」	サントリー酒類(株) 宣伝部長 和田 龍夫氏
会場：電通福岡ビル 11 階ホール 参加者：103 名		

### 「新春特別セミナー」

概ね2010年はリーマンショックの影響も薄れ、消費意欲の復調傾向が見られた。生活者の節約意識は依然として強いものの、自分自身の気持ちを優先した「自分にとっての質」の高い消費スタイルを实践しようとするアクティブな態度が、一層強まってきた。2011年は、そのような「利己的スマート」な消費者に注目し、マーケティング的なアプローチ方法を探った。

開催日	テ ー マ	講 師
2月18日(金)	「消費潮流 2011」 ～2011年への消費キーワードは「利己的 スマート」～	(株)電通 電通総研 インサイト・センター ヒューマンインサイト部 東田 哲明氏
会場：電通福岡ビル 11階ホール 参加者：36名		

### 「企画力養成講座」

マーケティング部門、プランニング部門に関わっている方、また、新たにそのセクションに配属された方、新入社員の方を対象にマーケティング・センスやプランニング・スキルの向上を目的として企画力養成講座を行った。

日本マーケティング協会研究開発局長竹中雄三を講師としたグループディスカッション形式のセミナーを開催した。

開催日	テ ー マ	講 師
7月8日(木)	『笑うマーケティング』の発想法 (講演とグループ演習)	社団法人日本マーケティング協会 研究開発局長 竹中 雄三
会場：電通福岡ビル 11階ホール 参加者：19名		

### 「インテグレートマーケティングコミュニケーション講座 2010」

第1回は、ミクシー年賀状で東京インタラクティブ・アド・アワードでグランプリを受賞された博報堂クリエイティブディレクターの須田和博氏に、いま効く広告のつくりかたについてご講演戴いた。身の回りにはモノがあふれ、生活の豊かさはおおむね実現されている今、インターネットの発展により、人々の情報収集、発信行動が変化している今 これまでの広告はもう効かないし必要ではない。広告を作る考え方を変えなければいけないのでは？ユーザーを動かす広告・ユーザーの役に立つことが広告の本質では？広告のつくり方を変えなくては、とお悩みの皆様に役に立つ講座であった。

第2回はキシリトール・ブームの仕掛け人で、マスメディア、ウェブ、バイラルなどのクロスメディアを駆使する統合型マーケティングを実践するマーケティングエージェンシー、インテグレートの藤田康人氏、NTTドコモにてiモードの導入期から、ケータイを使った新たなビジネスの立ち上げを行っている、(株)ドコモ・ドットコム村上勇一郎氏から、ご講演戴いた。2010年iPadが登場し、Twitterの利用者が1000万人を超え日本のマーケティングにおいて、いよいよトリプルメディア、マルチデバイスの時代を迎えた。そんな今「マス広告」・「PR」・「WEB」・「ソーシャルメディア」等駆使したメディアニュートラル、ソリューションニュートラルな「次世代IMC(統合マーケティングコミュニケーション)戦略」が注目を集めている。今回は最新のマーケティング動向・課題などをご講演戴き、次世代IMC(統合マーケティングコミュニケーション)戦略の展望を広告、PR・モバイル・クロスメディアなどについて講演・ディスカッションすることにより、皆様のマーケティング活動を成功に導く方向性を示して戴いた。

開催日	テ ー マ	講 師
7月29日(木)	「ソーシャルメディアと、使ってもらえる 広告」皆さまのお役に立つ広告、世のため 人のためになる広告とは？	(株)博報堂 エンゲージメントビジネス エット エンゲージメントクリエイティブ局 クリエイティブ ディレクター 須田 和博氏
会場：よみうりプラザ 読売新聞西部本社 1階 参加者：72名		
10月1日(金)	「進化したデバイスの現在(いま)」	(株)ドコモ・ドットコム ビジネス開発部マネージャー 村上勇一郎氏
	「次世代IMC(統合型マーケティングコミュ ニケーション)設計手法」	(株)インテグレート 代表取締役社長 藤田 康人氏
会場：電通福岡ビル 11階ホール 参加者：31名		

## メディアセミナー

少子高齢化やインターネット社会の進展により、国民の新聞離れ・テレビ視聴の多様化という構造変化が急速に進んでいる。既存のメディア業界は、変化への対応を迫られている。日本のメディア産業は、どのようなビジネスモデルを見出し、再編されていくのか？慶応大学講師の河内孝氏をお招きして、アメリカのメディアコングロマリットの事例や、日本の ICT ビジョンを参照にメディア産業の未来を読む講演会を開催した。

開催日	テーマ	講師
3月15日(火)	四大マスコミは、どうやってインターネットメディアと共存したらいいのか	国際厚生事業団 理事 慶応大学 講師 東京福祉大学 講師 河内 孝氏
会場：電通福岡ビル 11階ホール 参加者：46名		

## 受託事業

### 「熊本県玉名市第四回玉名ブランド認定審査委員派遣」

玉名地域の土産品で、歴史、文化、自然等の「玉名らしさ・こだわり」が感じられ且つ安全・安心・健康や地産地消を踏まえた商品を玉名ブランド認定品として審査選出した。

開催日	会場
10月2日(土)	熊本県玉名市地域振興課
12月4日(土)	

## 後援

### 「財団法人九州地域産業活性化センター、九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会、九州経済産業局 マーケティングセミナー」

財団法人九州地域産業活性化センター、九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会、九州経済産業局は、マーケティングが事業戦略上、重要なツールであるとの観点から、九州の企業が、顧客価値を創造し、伝達し、説得する手法や売れる製品、市場を席卷する競争力のある製品を市場に提供する手法を身に付ける機会を提供する「マーケティングセミナー」を開催。講師派遣依頼を受け後援した。

開催日	テーマ	講師
3月23日(水)	「競争しない競争戦略」	東海バネ工業(株) 代表取締役 渡辺 良機氏
	「グローバル時代のニッポン半導体は環境・医療をめざせ」	(株)産業タイムズ社 代表取締役社長 泉谷 渉氏
	「マーケティングとコミュニケーション」～リーチとフリクエンシーを意識した広報戦略～	マーケティング・オフィス 21 主宰 山本 文夫氏 中村学園大学 学部長 片山 富弘氏 (株)大広九州 第2アカウントプランニング 局長 上野 晃治氏
会場：ホテルオークラ福岡 参加者：100名		

## 「九州マーケティングアイズ」

情報・季刊誌「九州マーケティングアイズ」は九州の企業で展開されている、マーケティング活動を紹介することをテーマに下記4号を編集発行した。

4月号 海外に進出する九州企業

7月号 台頭する新業態 頑張る九州の小売業

10月号 地域医療の最先端事例

1月号 九州発 米をめぐる動き

通巻	発行月	事項
第53号	22年4月	10,000部発行、全国の会員に配布
第54号	7月	10,000部発行、全国の会員に配布
第55号	10月	10,000部発行、全国の会員に配布
第56号	23年1月	10,000部発行、全国の会員に配布

## 第2回日本マーケティング大賞 「地域賞」

### 1. 九州支部審査対象プロジェクト(テーマ及び企業・団体)

選考委員8名にて第1位に推薦するプロジェクトを投票。全員一致で、九州地域賞として九州旅客鉄道株式会社「観光列車『海幸山幸』を軸とした観光開発と観光ルートの創造」を推薦、本部運営委員会の審査を経て決定した。

### 2. 選考委員(敬称略)

運営委員会	副委員長	阿部 真也氏	九州情報大学 客員教授
	委員	小森 俊介氏	西南学院大学 名誉教授
業務推進委員会	委員	行武 亨氏	(株)西日本新聞社 執行役員広告局長
	委員	富永 彰彦氏	西日本鉄道(株) 広報室長
	委員	加計本 誠氏	(株)博報堂九州支社 マーケティング部長
学会会員		片山 富弘氏	中村学園大学 教授
		山本 文夫氏	マーケティング・オフィス21 主宰

### 『観光特急「海幸山幸」を軸とした観光開発と観光ルートの創造』九州旅客鉄道株式会社

かつては新婚旅行ブームに沸いたものの、近年観光客の減少により活気を失っている宮崎県日南地方の復興を目指して、新たに誕生したのが日南観光特急「海(うみ)幸山幸(さちやまさち)」である。列車の名前は沿線を舞台とした「海幸彦・山幸彦」神話にちなみ、車両の素材には特産の飼肥(おび)杉(すぎ)を多用し、車内販売も県内の産品をこだわって厳選するなど、徹底的なディテールへのこだわりが評判をよんだ。また観光特急の運行にあわせてシャトルバスや観光バスが運行されたり、市役所、商工会議所による観光マップ配布や物販開始など、地域を巻き込んだ取り組みの核として再活性化に大きく貢献した。2009年10月10日の運行開始以降、不定期な運行ながら、乗客数は定員を超えて好調に推移している。また、シャトルバスの自主運行など、「海幸山幸」を活用した沿線独自の観光への取り組みも進んでいる。

## V. 北海道支部事業報告

### 概況

北海道支部は、「タイムリーな課題の提供」「より実践的なスキルの習得」を中心に、マーケティング・営業支援・実践講座など幅広いテーマで活動に取り組んだ。特に「ベーシックコース」にグループ演習を採り入れるなど、マーケティング・アカデミーの充実をはかった。また、懸案の「支部設立 20 周年記念事業」も関係各位の協力により無事に実施することができた。

### 22 年度の主要活動

(1) メイン事業として定着したマーケティングアカデミー「ベーシックコース」「アドバンスコース」を実施。

#### マーケティングアカデミー《ベーシックコース》

開催日	テ ー マ	講 師
10月7日(木)	「事例で学ぶマーケティングのエッセンス」	小樽商科大学 ビジネススクール 教授 近藤 公彦氏
	「ブームや評判の仕組みを考える」 ～マーケティングと戦略PR～	北海道大学大学院 メディア・コミュニケーション研究院 准教授 北見 幸一氏
10月14日(木)	「ビジネスの質を高める<調べる力>」① ・「調べる仕組み」とは(講義) ・「情報のまとめ方・見せ方」(個人演習)	(有)インフォナビ 上野 佳恵氏
	「ビジネスの質を高める<調べる力>」② ・「情報のまとめ方・見せ方」(個人演習の続き) ・まとめ「ビジネスの質を高める<調べる力>」(講義)	
10月21日(木)	「マーケティングのノウハウを実践に活かす!」① ・「あいつをゲット!」異性にモテる条件を考える ・「あなたの隣人を売り込め!」相手目線のマーケティングとは ・「なぜ、あなたはその商品を買ったのか!」マーケティング4Pの整理	佐々木オフィス 代表 佐々木 宏氏
	「マーケティングのノウハウを実践に活かす!」② ・「沖縄ツアーを開発せよ!」競争戦略と商品開発 ・「SWOT分析」から、事業戦略を考える ・「楽飲亭にソースを売れ!」顧客と向き合った時に、どんな質問をするか	
10月28日(木)	「問題解決としてのデザイン」	(株)マーケティング・コミュニケーション・エルグ 代表取締役 山岸 正美氏
	「マーケティングから広げるビジネスチャンス」	(株)電通北海道 取締役 臼井 栄三氏
会場：電通恒産札幌ビル 9F ホール 参加者：10名		

マーケティングアカデミー《アドバンスコース》

開催日	テ ー マ	講 師
10月4日(月)	開講式	小樽商科大学 ビジネススクール 教授 近藤 公彦氏
	ケースメソッドの目的と方法 講義・分析・演習 「アシックス 草の根ラン教室でファン作り」	
10月18日(月)	講義・分析・演習 「アシックス 草の根ラン教室でファン作り」	
10月25日(月)	講義・分析・演習 「ハイアールジャパンセールス“引き算”で節約心をつかむ」	
11月1日(月)	講義・分析・演習 「サントリーの伊右衛門 価値創造のブランド戦略」	
11月8日(月)	講義・分析・演習 「花王のアジェンス 価値転換のブランド戦略」	
11月15日(月)	講義・分析・演習 「ソメスサドル 高品質の革製品へのこだわり」	
11月22日(月)	講義・分析・演習 「松下電器産業 V字回復の家電流通革命」	
11月29日(月)	講義・分析・演習 「良品計画 ブランド再生と次なる成長」	
	終講式	
	交歓会	
会場：小樽商科大学札幌サテライト 中講義室 参加者：11名		

- (2) 注目のテーマをタイムリーに解説する「テーマ戦略セミナー」を8回、「営業支援セミナー」を2回、「特別セミナー」を3回、実践講座を1回、北海道支部設立20周年記念シンポジウムを開催した。ブランド構築、不動産動向、販売戦略、消費とマーケティングなど、日常生活に密着し、より実践的なテーマを採りあげた。

月例マーケティングテーマ戦略セミナー

開催日	テ ー マ	講 師
4月27日(火)	「変わる中国、変わるメディア」 ～変化する中国のメディア環境。北海道が進む方向をさぐる～	北海道大学 教授 東アジアメディア研究センター センター長 渡邊 浩平氏
会場：かでの2・7 7F 720 研修室 参加者：24名		
5月12日(水)	「マーケティングをビジネスに活かす12のヒント」	(株)電通北海道 取締役 臼井 栄三氏
会場：かでの2・7 10F 1030 会議室 参加者：30名		
7月16日(金)	「《クロスメディア》が本当に意味するものは？ 地域実践ビジネスの可能性を探る！」	凸版印刷(株) メディア事業開発本部部長 榎谷 稔氏
会場：かでの2・7 7F 720 研修室 参加者：31名		
8月26日(木)	「ツイッターから始まるビジネス」 ～ポストグーグル時代の新マーケティングとは？～	朝岡経営事務所 所長 朝岡 敏春氏 (有)ディーエーオー 代表取締役 佐藤 拓也氏
会場：かでの2・7 7F 720 研修室 参加者：44名		

9月8日(水)	「環境をデザインする」 ～ECOの視点からビジネスモデルを探る～	(株)IEPO 代表取締役 岩井 尚人氏
会場：かでの 2・7 7F 730 研修室		参加者：12名
1月27日(木)	「問われる住宅・不動産産業の適応力」 ～住宅マーケットに起きている変化の諸相を読む～	(有)インフォメーション・システム・キャビン 代表取締役 志田 真郷氏
会場：かでの 2・7 7F 730 研修室		参加者：19名
2月25日(金)	「挑む、マーケティング力の復元」 ～脱コモディティ化戦略の展開～	朝岡経営事務所 所長 朝岡 敏春氏 北星学園大学 経済学部 教授 西脇 隆二氏
会場：かでの 2・7 10F 1050 会議室		参加者：26名
3月17日(木)	『オンライン・マーケティング』 ～Web2.0で自社製品とサービスのスーパー口コミを～	(株)サンエス・マネジメント・システムズ (SEMS) チーフ・コンサルタント ピーター・ニコルス氏
会場：かでの 2・7 7F 720 研修室		参加者：29名

#### 営業支援セミナー

開催日	テーマ	講師
6月2日(水)	「不況に勝つ、営業戦略トレーニング」 ～アーサー・アンダーセン仕込みの営業ノウハウを学ぶ～	(株)サンエス・マネジメント・システムズ チーフ・コンサルタント
6月9日(水)		ピーター・ニコルス氏 (株)SOC 総合研究所 理事長 本間 賢一氏
会場：かでの 2・7 10F 1040 会議室		参加者：18名
6月22日(火)	『今こそ試される営業力復活の時代』 ～営業マネージャーの効果的なコミュニケーション力を学ぶ～	(株)クリエイティブ・マネジメント 代表取締役 町口 正人氏
会場：かでの 2・7 7F 730 研修室		参加者：14名

#### 特別セミナー

開催日	テーマ	講師
7月28日(水)	「戦略的ブランド・マネジメントとは？」	早稲田大学 商学学術院長・教授 恩藏 直人氏
会場：電通恒産札幌ビル 9F ホール		参加者：34名
9月29日(水)	「広告のチカラ」 ～心に届くメッセージを伝える～	副田デザイン制作所 主宰 副田 高行氏
会場：電通恒産札幌ビル 9F ホール		参加者：59名
1月14日(金)	「消費潮流 2011」 ～2011年への消費キーワードは「利己的スマート」～	(株)電通 電通総研 インサイト・センター ヒューマンインサイト部 東田 哲明氏
会場：電通恒産札幌ビル 9F ホール		参加者：45名

実践講座

開催日	テ ー マ	講 師
5月28日(金)	消費者インサイト最前線「インサイトワークショップ」 ～心のスイッチを押す、商品開発とコミュニケーション企画～	(株)インサイト 代表取締役 桶谷 功氏
会場：かでの 2・7 10F 1040 会議室 参加者：16名		

北海道支部設立 20 周年記念シンポジウム

開催日	テ ー マ	講 師
11月17日(水)	≪街づくりとマーケティング≫ 基調講演 「進化し続ける都市」 ～にぎわいの「拡がり」と「深まり」を目指して～ パネルディスカッション 「活気あふれる創造都市へ。街づくりとマーケティング」	基調講演 三菱地所(株) 常務執行役員 合場 直人氏
		パネルディスカッション 三菱地所(株) 常務執行役員 合場 直人氏
		札幌市市長政策室政策企画部 プロジェクト担当部長 西野 守彦氏
		(株)電通中部支社 リューション企画局 マーケティング・デジタル推進部部長 若林 宏保氏
コーディネーター 小樽商科大学 ビジネススクール 教授 近藤 公彦氏		
会場：札幌プリンスホテル 国際館パミール 6F 日高 参加者：77名		

第 2 回日本マーケティング大賞 「地域賞」

- 第 2 回日本マーケティング大賞の「地域賞」について下記の委員で選考会を開き、北海道地区応募プロジェクト 10 件の中で『北海道米のブランド価値向上・消費拡大キャンペーン』（北海道米販売拡大委員会）を選定、承認された。2010 年 5 月 25 日の表彰式に、北海道米販売拡大委員会・委員長の長谷川幸男氏にご出席いただいた。

北海道支部選考会

業務推進委員会	委員長	村田 正敏氏	北海道新聞社 常務取締役
運営委員会	委員長	高石 克己氏	ホクレン農業協同組合連合会 代表理事専務
	理事	渡辺 卓氏	北海道放送(株) 代表取締役社長
	理事	夏目 祝夫氏	(株)電通北海道 代表取締役社長
業務推進委員会	副委員長	三浦 収氏	北星学園大学 名誉教授
	副委員長	臼井 栄三氏	(株)電通北海道 取締役
	委員	村上 裕之氏	ホクレン農業協同組合連合会 広報宣伝課長
	委員	山田 伴一氏	北海道放送(株) テレビ本部営業局長
	委員	高橋 雅博氏	北海道新聞社 取締役広告局長
	委員	天羽 貴彦氏	北海道旅客鉄道(株) 開発事業本部部長

委員	福島由紀夫氏	札幌テレビ放送(株) 取締役営業局長
委員	谷藤 健治氏	(株)道新サービスセンター 取締役
委員	篠崎 雅春氏	道都大学 経営学部教授
委員	天沼 孝行氏	北海道味の素(株) 取締役家庭用部長

『北海道米のブランド価値向上・消費拡大キャンペーン』北海道米販売拡大委員会

日本一の米生産地の北海道で、地産地消を進めるために中心的な役割を果たしてきたのが北海道米販売拡大委員会。北海道の生産者と生産団体、自治体が協力して、「きらら 397」「ふっくりんこ」「おぼろづき」「ゆめぴりか」など、全国の有名ブランド米に匹敵する品種の改良に成功し、これを契機に北海道米のおいしさや地産地消の重要性などを訴えるキャンペーンを開始した。テレビCMのほか、イベント展開、きめ細かい流通店頭施策など、一貫性のあるマーケティング・キャンペーンが功を奏し、北海道内における北海道米の消費率は37%(平成8年)から78%(平成21年)へと劇的に伸長した。